

日本基督改革派教会

式 文

序——式文の用い方

一、式文は憲法の下にあり、これに拘束される。政治規準の付則にある十種類の誓約と宣言、礼拝指針第四十三条の幼児洗礼の誓約、第四十九条の信仰告白の誓約、第五十四条の聖餐式のことばはそのまま用いなければならない。諸式の初めの注意事項のうち、憲法への参照箇所は特に注意していただきたい。

神戸改革派神学校定款は教会の憲法ではないが、大会決議によるものであるから、理事の誓約文は拘束力がある。

二、祈祷について。「教師は、公的礼拝の祈祷文に拘束されてはならないが説教と同様、公的祈祷のためにも準備すべきである」（礼拝指針第十八条）を他の諸式の祈祷文についての指針と理解することができる。

三、式辞、教えについて。「例」をそのまま用いてもよいが、司式者が、聖書と憲法に従って自由に語ることを妨げるものではない。

四、日本基督教改革派教会全体のみならず、日本の福音主義諸教会の一致と建徳のために、

式次第がある程度統一されていることが望ましいものがある。礼拝順序をはじめ、公的性の強い教会諸式の順序と内容、および結婚式、葬式などである。

五、憲法、神学校定款等の教會的規準書に規定のない諸式は、大会決議のあるもののみ採用した。第三章の会堂起工式、献堂式は第八回大会決議により、第六章五建築諸式は第三十三回大会の要望により加えられた。

日本基督教改革派教会式文集目次

序―式文の用い方	1
第一章 礼 拝	6
一、礼 拝（Ⅰ）	6
二、礼 拝（Ⅱ）	15
第二章 礼典および信仰告白式	20
一、幼児洗礼式	20
二、成人洗礼式	25
三、信仰告白式	30
四、聖 餐 式	34
第三章 小会が執行する諸式	40
一、転 入 式	40
二、加 入 式	43
三、長老任職・就職式	46
四、執事任職・就職式	52
五、教会学校校長就任式	58

六、会堂起工式	62
七、献堂式	65
第四章 中会が執行する諸式	69
一、教会設立式〔教会加入式〕	69
二、伝道所設立式	88
三、教師候補者誓約式	97
四、説教免許授与式	99
五、教師任職式	102
六、牧師就職式〔協力牧師・宣教師就職式〕	107
七、巡回教師就職式	115
第五章 大会が執行する諸式	119
一、中会設立式	119
二、宣教師就職式	123
三、神学教師就職式	127
四、神学校理事就任式	132

	五、	神学校校長就任式	133
	第六章	家庭に関する諸式	135
	一、	家庭礼拝	135
	二、	婚約式	136
	三、	結婚式	139
	四、	葬儀諸式	148
	1.	納棺式	148
	2.	前夜式	151
	3.	出棺式	154
	4.	葬式	155
	5.	埋葬式〔火葬式〕	158
	6.	納骨式	161
	五、	建築諸式	165
	1.	起工式〔定礎式〕	165
	2.	上棟式	167
	3.	落成式	168
あとがき			170

第一章 礼 拝

一、公的礼拝の通常の要素は、頌栄、開会祈祷と主の祈、聖書朗読、讃美歌、説教前の祈祷、説教、説教後の祈祷、献金、感謝祈祷、祝祷である（礼拝指針 三章）。

二、会衆の霊的状态に基づいて、礼拝に費やす時間と、各礼拝要素の均衡に留意すること。

一、礼 拝（I）

前 奏

招きの言葉

頌 栄〔讃詠〕

頌	感謝	献	讚美	祈	説	讚美	牧会	聖書	交誦	讚美	主の	開会
栄	祈	金	歌	禱	教	歌	祈	朗	文	歌	祈	禱
〔讚詠〕									〔使徒信条・十戒等〕			
			〔聖餐式〕				〔洗礼式・信仰告白式・転入式・加入式・長老執事の任職・就職式等〕					

祝 禱〔黙禱〕
後 奏
報 告

(例)

招きの言葉

詩篇九五篇一〜七節

詩篇九六篇一〜四節

詩篇一〇〇篇一〜五節

ヨハネによる福音書四章二三〜二四節

ヨハネの黙示録一九章五節

開会祈禱・主の祈

恵み深い父なる神よ。すべてのものを造り、これを保ち、統べ治められる尊い御名を
あがめます。御子イエス・キリストにあって私たちがあなたを知り、あがめることので
きる幸いを感謝いたします。

今、御霊なる神の導きの下に、霊とまことをもつて礼拝をささげさせてください。
主が弟子たちに、「祈るときにはこう言いなさい」と教えられた「主の祈」を受け入れてください。

(会衆も和しつつ)

天にまします我らの父よ。

願わくは、御名をあがめさせたまえ。

御国を来たらせたまえ。

御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みに合わせず、悪より救いくださいたまえ。

国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

牧会祈祷 イ

聖なる聖なる聖なる、三つにしてただ独りにいます、生けるまことの神よ。

永遠の聖定に基づいて、天と地と海とその中のすべての物を造り、御心のままにこれを

保ち、統べ治められる全能の御力をあがめます。

救主イエス・キリストを私たちに賜ったばかりでなく、主を信じる信仰をもお与えくださり、救いに入れてくださいました恵みを感じたいします。

また、御霊の豊かな恵みのうちに一週を送り、今、新しい週の初めに、兄弟姉妹と共に、聖なる礼拝に集まることができましたことを感謝いたします。

願わくは、私たちが、満ちあふれる恵みを賜わりながらも、思いと言葉と行いにおいて犯したすべての罪を、御子の贖いのゆえにお赦しください。私たちが自分の罪を心から悔い改めることができるようにしてください。

願わくは、私たちの心の目を明らかにし、思いを清め、志を励まし、力を与えて、今日からの一週間を、私たちが置かれた場所と与えられた働きの中であなたに仕え、御言葉に従う生活によって福音を飾ることができるようになってください。

願わくは、主イエス・キリストに連なるすべての公同教会に、かしらである主イエス・キリストの祝福をいよいよ豊かに満たしてください。

私たちの国と全世界の為政者、また、人々の益のために奉仕するすべての者たちに、主の導きと助けとお与えください。

今、御言葉を聞く私たちに、聖霊の導きをお祈りいたします。御霊なる神よ。私たちの心を照らして、御言葉を悟り、信じ、また、従うことができるようにしてください。

病床にある兄弟姉妹に、慰めと平安を与え、希望を満たしてください。

旅のうちにある者をお守りください。

母教会を遠く離れている兄弟姉妹を御心に留めてください。

今日も勤労に従事しなければならない兄弟姉妹に、憐れみと慰めをお与えください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

牧会祈祷 口

(頌 栄)

「ただひとり不死を保ち、近づきたい光の中に住み、何人も肉の目をもって見る
ことのできない」「もろもろの王の王、主の主」、とこしえの神よ。御名をほめたた
えます。

(感 謝)

あなたは、聖なるおきてを人に与えて、正しく生きる道を教え、野の草、空の鳥に勝つ

て私たちを愛し、あらゆる良い物をもつて満ち足らせてくださいました。

(告白)

それにもかかわらず、私たちは、始祖アダムにあつてあなたに背き、「ただあなたに罪を犯しました」。そして、「私たちは自分の腹を神とし、自分の恥を栄光とし、ただ地上のことのみを思うものに墮してしまいました」。「主よ、あなたがもし、もろもろの不義に目をとめられるならば、主よ、だれが立つことができましようか」。

(赦罪)

「しかしあなたには、ゆるしがあるので、人に恐れかしまれるでしよう」。あなたは、救主イエス・キリストとその十字架の死による贖いを信じるものに、罪の赦しを約束してくださいました。願わくは、今、私たちにまことの悔い改めと信仰を与え、主イエス・キリストにあつて、あなたの赦しをお与えください。

(嘆願・執成し、祈願)

神よ、願わくは、あなたの和解の福音を信じる私たちが、これを隣り人に伝えることができるように、確信と勇気を与えてください。また、私たちが生活を清めて、福音の告白を飾ることができるようにお助けください。

願わくは、私たちの国と全世界にいるすべてのキリスト者を祝福し、良いあかしを立てることができるようにしてください。

また、私たちの町や国あるいは全世界の為政者が、正義と公平と真実をもって、ゆだねられた任務を全うすることができるようにしてください。国民もまた、良心に従って彼らを敬い、勤勉に各々の業に励み、愛と奉仕によって互いに助けるものとならせてください。

私たちの兄弟姉妹のうち、旅にある者をお守りください。

病いの床にある者を福音の慰めをもって満たし、悩みの中にある者を憐れみ助けてください。罪を犯して、御前に近づぐことを恐れている者に、赦しの福音を確信させ、誘惑に負けた者をもとに連れ戻してください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

感謝祈祷 イ

世界とそこの中にあるすべての物の造り主である神よ。あなたは天地の主であり、人の手によって仕えられる必要のない方であるにもかかわらず、私たちの供え物を喜んでくださることを感謝いたします。

今、御前にささげる物は、あなたの目にはまことに小さいものですが、私たちの献身の印としてお受けください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

感謝祈禱 口

すべての良き物の源であられる父なる神よ。私たちは、今、あなたから頂いた祝福を感謝し、御前にささげ物をいたしました。願わくは、これを祝して教会の御用にお使いください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

祝 禱

民数記六章二四～二六節

コリント人への第一の手紙一六章二二後半～二三節

コリント人への第二の手紙一三章一三節

エペソ人への手紙六章二三～二四節

テモテへの第二の手紙四章二二節

ヘブル人への手紙一三章二〇～二二節

二、礼 拝（Ⅱ）

前 奏

招きの言葉

罪の告白の勧告と祈祷

罪の赦しの宣言

頌 栄〔讃詠〕

主 の 祈

交読文〔使徒信条・十戒等〕

聖 書 朗 読

牧 会 祈 祷

〔洗礼式・信仰告白式・転入式・加入式・長老執事の任職・就職式等〕

献 金

感 謝 祈 祷

讃 美 歌
説 教
祈 禱
（聖 餐 式）
頌 栄〔讚詠〕
祝 禱〔黙禱〕
報 告

（例）
罪の告白の勧告と祈禱 イ

愛する兄弟姉妹たち。あなたがたは、今、それぞれ主の御前に出て、私が述べる言葉に従って罪の告白をされますように――

（会衆も和しつこ）

主なる神よ。私たちは、聖なるあなたの御前に告白いたします。私たちは、咎ある者として生まれ、罪の中に育ち、何一つ良い業をすることのできない罪人であります。私

たちは、しなければならぬことをせず、してはならぬことをして、自分の身にあなたの正しい裁きを招きました。

しかし主よ、私たちは、あなたの恵みにすがって救われることを切に願ひ、罪と惡とを心から憎み悲しんでおります。それゆえ、あなたの御子イエス・キリストの御名によって憐れみを垂れ、福音の約束に従つて私たちの罪をお赦しください。私たちの汚れと腐敗を洗い去り、聖靈の恵みを日ごとに増し加えてください。

願わくは、今から後、とこしえに罪に死に義に生きる者としてください。

主イエス・キリストの御名によつてお祈りいたします。アーメン。

罪の告白の勧告と祈祷 口

愛する兄弟姉妹たち。主イエス・キリストの戒めを聞きなさい。「心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ。これがいちばん大切な、第一のいましめである。第二もこれと同様である、自分を愛するようになあなたの隣り人を愛せよ。これらの二つのいましめに、律法全体と預言者とが、かかっている」(マタイ二二章三七〜四〇節)。

また、次の約束の言葉を聞きなさい。

「もし、罪がないというなら、それは自分を欺くことであつて、真理はわたしたちのうちにはない。もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる」(第一ヨハネ一章八〜九節)。

ですから、今、人の心を探り知られる神の御前に、罪を告白しましょう―

(会衆も和しつゝ)

万物の造り主、すべての人の裁き主であられる神よ。私たちは、あなたの聖なる戒めに従わず、失われた羊のように御前から迷い出、思いと言葉と行いにおいて罪を犯し、あなたの御怒りを招いたことを深く悲しんでおります。憐れみに富んでおられる父よ。犯した罪を憎み悲しむ私たちに、憐れみを注いでください。主イエス・キリストにおいて私たちを救し、御霊によって生まれ変わらせ、御名の栄えのために生きる者とならせてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

罪の赦しの宣言 イ

あなたがたは、おのおの真心から自分の罪を悔い、イエス・キリストにおいて提供さ

れた神の憐れみと赦しによりすがろうとしています。このように、心から悔い改めてイエス・キリストによりすがる人には、父と子と聖霊の御名によって、罪の赦しを宣言します。アーメン。

罪の赦しの宣言 口

全能の神は、「悪人の死を喜ばれず、かえって悪人が悔い改めて、生きることを喜ばれます。また、「神はそのひとり子を賜わったほどにこの世を愛され」、真心から悔い改めて主イエス・キリストを信じる者に、罪の赦しを約束してくださいました。

願わくは、主が私たちすべての者に、この約束の恵みをお与えくださいますように。アーメン。

第二章 礼典および信仰告白式

一、幼児洗礼式

一、契約の子に幼児洗礼を受けさせるのは、親の義務、また、特権であるから、小会あるいは宣教教師は、親が契約の子らの受洗を無視しないように留意すること（政治規準三十条、六十六条二項六号、礼拝指針三十七条）。

二、小会あるいは宣教教師は、幼児洗礼を願ひ出た親と面接し、適切な教えと勧告をすること（政治規準六十六条二項六号）。

三、幼児洗礼式は教師が執行する（政治規準三十六条一項四号、礼拝指針三十八条）。

四、幼児洗礼式は、公的礼拝において執行される（礼拝指針三十九条）。

五、幼児洗礼式の要素は、聖書、教え、勧告、誓約、祈祷、授洗である（礼拝指針第六章一節）。

一、聖書

マルコによる福音書一〇章一三〜一六節

使徒行伝二章三七〜四七節

二、式 辞

イ、礼拝指針四十一条に基づく適切な奨励

ロ、大教理問答一六五〜一六七、小教理問答九四〜九五の交読または抜粋朗読。

ハ、例

日本基督教改革派（ ） 教会小会〔伝道所宣教師〕は、信者である（ ）と

（ ）との願いに基つき、契約の子（ ）に幼児洗礼を授けようとしています。

そもそも洗礼は、主イエス・キリストが制定された新しい契約の礼典です。私たちは、生まれながらに罪と咎と汚れのあるものですから、キリストの血と御霊によるきよめが必要です。洗礼は、この生まれながらの罪人がイエス・キリストにあつて、新しい契約の民とされたことを示し印証する礼典です。

この礼典は、信仰を告白する信者と同様に、信者の子らにも授けられます。神は昔アブラハムに対して、「わたしはあなた及び後の代々の子孫と契約を立てて、永遠の契約

とし、あなたと後の子孫との神となるであろう」（創世記一七章七節）と約束し、その印として割礼をお命じになり、新しい契約のもとでは、洗礼を割礼に替わるものとされたからです。すなわち、主イエスは、「すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施せ」（マタイ二八章一九節）とお命じになり、幼子を祝福して「神の国はこのような者の国である」（マルコ一〇章一四節）と言われました。使徒ペテロも、「この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」（使徒二章三九節）と言って、信じた者とその家族に洗礼を施しました。

このように、新しい恵みの契約も、父と子と聖霊なる神を信じる者とその子らとに結ばれており、そのしるしとして洗礼が幼児にも施されます。

三、勸告

（誓約者は前に進み出る）

イ、礼拝指針四十二条に基づく適切な奨励

ロ、例

愛する兄弟姉妹。神はこの礼典をとおして、恵みと憐れみを約束し保証してください

ますから、あなた〔がた〕も神への服従と献身を誓わなければなりません。

あなた〔がた〕は、神の契約の子を預かる親として、幼子に神の御言葉を語り聞かせ、契約の真理を教えなさい。また、幼子が成長するにつれて、私たちの教会の信条に従って聖書を理解させ、契約の義務を喜んで果たす者となるように教え導きなさい。

そのために、絶えず幼子と共に祈り、また、幼子のために祈りなさい。あなた〔がた〕自身の信仰と生活を清めて、幼子に良い模範を示し、主が備えてくださったすべての恵みの手段を忠実に用いて、幼子を神の家の一員として育てなさい。

四、誓約

() () ()、あなた〔がた〕は、今、愛する幼子を主にささげて、洗礼を受けさせるにあたり、次の誓約をしなければなりません。

一、あなた〔がた〕は、あなた〔がた〕の子に、イエス・キリストの血による罪の赦しと、聖霊による生まれ変わりの恵みが必要であることを認めますか。

二、あなた〔がた〕は、子のために神の契約の約束を信じ、求めますか。また、あなた〔がた〕は、自分のためになすように、子の救いのためにも、ただ主イエス・キリストにより頼みますか。

三、あなた(がた)は、今、あなた(がた)の子を全く神にささげますか。あなた(がた)は、謙虚に神の恵みにより頼み、あなた(がた)の子の前に敬虔の模範を示し、彼とともにまた彼のために祈り、教理を教え、また主の薫陶と訓戒のうちに彼を育てるように努めることを、約束しますか。

親 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

五、授 洗

()、父と子と聖霊の御名によって洗礼を授ける。アーメン。

(教師はこの言葉と共に水を注ぐ以外、どのような儀式も付加してはならない)

六、祈 禱

恵み深い父なる神よ。あなたは昔、不信仰と暴虐に満ちたこの世を洪水をもって清め、信じるノアとその家族を救って洗礼の子表とされました。あなたは今、御子イエス・キリストの贖いによって幼子の罪を赦し、教会の一員として受け入れ、洗礼によってこれを示し確かなものとしてくださったことを感謝いたします。

願わくは、子供を育てはぐくむ親と教会を憐れみ助けてください。また、御霊により、常にこの幼子を支配し、信仰と清い生活とに導いてください。そしてこの幼子が成人す

るとき、自分自身の信仰をもってキリストを告白して聖餐にあずかり、聖徒のすべての義務を果たし、あなたの御栄光を現わす者とならせてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

七、宣言

() は、今ここに洗礼を受け、神の家の一員とされたことを宣言します。それゆえ、親と教会は、この幼子がイエス・キリストを、主また救主として信じ告白するように教え育てなければなりません。

八、紹介

二、成人洗礼式

一、小会あるいは宣教師は、志願者に対し、信仰と生活についてあらかじめ試問すること（政治規程六十六条二項一号、礼拝指針四十五条）。

二、成人洗礼式は教師が執行する（政治規程三十六条一項四号、礼拝指針三十八条）。

三、成人洗礼式は、通常、公的礼拝において執行される（礼拝指針四十五条）。

四、成人洗礼式の要素は、聖書、教え、誓約、授洗、祈祷、宣言である（礼拝指針四十六條、四十九條二項、三項）。

一、聖書

マタイによる福音書二八章一八〜二〇節

使徒行伝二章三七〜四七節

ローマ人への手紙六章三〜一四節

コロサイ人への手紙二章九〜一三節

二、式 辞

（誓約者は前に進み出る）

イ、大教理問答一六五〜一六七、小教理問答九四〜九五の交読または抜粹朗読。

ロ、例

日本基督教改革派（ ）教会小会〔伝道所宣教教師〕は、（ ）の信仰と生活について慎重に試問し、この兄弟〔姉妹〕を教会の交わりに受け入れることを認めましたので、今ここに洗礼式を行おうとしています。

そもそも洗礼は、主イエス・キリストが制定された新しい契約の礼典であり、父と子

と聖霊の御名によって施されます。主は、この礼典によって生まれながら罪人である私たちが、キリスト・イエスにあつて義とされ、聖別されて、新しい契約の民とされたことを示し印証してくださいます。

それゆえ、洗礼を受ける者は、自分自身が、キリスト・イエスにあつて罪に対して死に、神に生きる者とされたことを確信し、今から後、もはや自分のために生きず、自分のために死んでよみがえつてくださったキリストのために生きることを決意しなければなりません。

三、誓約

()、あなたは、次の信仰を告白し、誓約をしなければなりません。これによつて、あなたは神と教会との厳かな契約に入れられます。

一、あなたは、天地の造り主、唯一の生けるまことの神のみを信じますか。

二、あなたは、自分が神のみ前に罪人であり、神の怒りに値し、神のあわれみによらなければ、望みのないことを、認めますか。

三、あなたは、主イエス・キリストを、神のみ子、また罪人の救い主と信じ、救いのために、福音において提供されているキリストのみを受け入れ、彼にのみより頼みま

すか。

四、あなたは今、聖霊の恵みに謙虚に信頼し、キリストのしもべとしてふさわしく生きることを、決心し約束しますか。

五、あなたは、最善をつくして教会の礼拝を守り、その活動に奉仕し、教会を維持することを、約束しますか。

六、あなたは、日本基督教改革派教会の政治と戒規とに服し、その純潔と平和とのために努めることを約束しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

四、授 洗

()、父と子と聖霊の御名によって洗礼を授ける。アーメン。

(教師は、この言葉と共に水を注ぐ以外、どのような儀式も付加してはならない)

五、祈 禱

恵み深い父なる神よ。御独り子、主イエス・キリストの贖いによってこの兄弟〔姉妹〕を罪から救ってくださいましたことを感謝いたします。

あなたは、御前に立つ〔ひざまずく〕兄弟〔姉妹〕を、生まれる前からキリストにあつ

て選び、今、あなたと教会の前に信仰を告白させ、水の洗いをもって御名のうちに加えてくださいました。

願わくは、聖霊の助けによって、兄弟〔姉妹〕をすべての誘惑に勝たせ、あなたが兄弟〔姉妹〕のうちに始められた良い業を全うし、天の御国に入る日までお守りください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

六、宣 言

あなたは、今ここに信仰を告白し洗礼を受けました。それゆえ、あなたは、神の教会のすべての特権を与えられ、聖餐の礼典にあずかることができます。

「あなたがたをキリストにある永遠の栄光に招き入れて下さったあふるる恵みの神は、しばらくの苦しみの後、あなたがたをいやし、強め、力づけ、不動のものとして下さるであろう。どうか、力が世々限りなく、神にあるように。アーメン。」(第一ペテロ五章

一〇―一一節)

(または、第一コリント六章一一節後半、第一テサロニケ五章二三―二四節)

七、紹 介

三、信仰告白式

一、小会あるいは宣教教師は、契約の子が分別年齢に達したとき、信仰を告白して陪餐を志願するように導くこと（礼拝指針四十七条）。

二、小会あるいは宣教教師は、志願者の信仰と生活について、あらかじめ試問すること（礼拝指針四十八条）。

三、信仰告白式は教師が執行する（礼拝指針三十八条）。

四、信仰告白式は、通常、公的礼拝において執行される（礼拝指針四十九条）。

五、信仰告白式の要素は、聖書、教え、誓約、祈祷、宣言である（礼拝指針四十九条）。

一、聖書

ローマ人への手紙一〇章八〜一三節

テモテへの第二の手紙一章三〜一〇節

二、式辞

（誓約者は前に進み出る）

イ、礼拝指針四十七〜四十九条に基づき適切な奨励

口、例

日本基督教改革派（ ） 教会小会〔伝道所宣教教師〕は、契約の子として幼児洗礼を受け、「両」親によって神にささげられた（ ）を試問した結果、この兄弟〔姉妹〕が今や陪餐会員としての特権と責任を持つにふさわしいことを認めましたので、今ここで信仰告白式を行おうとしています。

そもそも信仰告白は、幼児洗礼を受けた者が成長して、自分自身の信仰をもってキリストを告白することです。これによって、告白者は、聖徒の交わりにおけるすべての特権が与えられ、特に聖餐にあずかることができます。

それゆえ、信仰を告白する者は、今日に至るまでの神の守りと導きを感謝し、罪を悔い改め、神の赦しと聖霊の導きを求めなければなりません。更に、契約の責任を果たす者として、自分自身を神にささげる決意をいよいよ新たにしなければなりません。

三、誓約

（ ）あなた、あなたは、次の信仰を告白し、誓約しなければなりません。

一、あなたは、天地の造り主、唯一の生けるまことの神のみを信じますか。

二、あなたは、自分が神の御前に罪人であり、神の怒りに値し、神の憐れみによらなければ、望みのないことを、認めますか。

三、あなたは、主イエス・キリストを神の御子、また罪人の救主と信じ、救いのために、福音において提供されているキリストのみを受け入れ、彼にのみより頼みますか。

四、あなたは今、聖書の恵みに謙虚に信頼し、キリストのしもべとしてふさわしく生きることを決心し、約束しますか。

五、あなたは、最善を尽して、教会の礼拝を守り、その活動に奉仕し、教会を維持することを、約束しますか。

六、あなたは、日本基督教改革派教会の政治と戒規とに服し、その純潔と平和とのために努めることを、約束しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

四、祈 禱

恵み深い父なる神よ。御独り子、私たちの主イエス・キリストの贖いによって、私たちを罪から救ってくださいましたことを感謝いたします。

あなたは、御前に立つ兄弟〔姉妹〕を、生まれる前からキリストにあって選び、あな

たを信じる家庭に生まれさせ、「阿」親と教会をとおして主の薫陶と訓戒のうちにはぐくみ、今、あなたと教会の前に信仰を告白させてくださいました。

願わくは、聖書の助けによって、世のすべての誘惑に勝たせ、兄弟〔姉妹〕が受け継いだ契約の恵みの中で、終わりまで信仰を全うすることができるようにしてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

五、宣言

あなたは、今ここに信仰を告白しました。それゆえ、あなたは、神の教会のすべての特権を与えられ、聖餐の礼典にあずかることができます。

「あなたがたをキリストにある永遠の栄光に招き入れて下さったあふるる恵みの神は、しばらくの苦しみの後、あなたがたをいやし、強め、力づけ、不動のものとして下さるであろう。どうか、力が世々限りなく、神にあるように、アーメン。」（第一ペテロ五章一〇―一一節）

（または、第一コリント六章一一節後半、第一テサロニケ五章二三―二四節）

六、紹介

四、聖餐式

一、聖餐式を執行するときは、少なくとも一回前の主の日に予告し、聖餐の性質を教え、適当な準備をもつて陪餐するように勧めること（礼拝指針五十一條）。

二、聖餐式は教師が執行する（信仰告白二七章四節、政治規準三十三條、三十六条項四号）。

三、聖餐式は、通常、公的礼拝において執行される（政治規準二十一条一項、十六六条二項九号）。

四、聖餐式の要素は、制定の御言葉、教え、聖別の祈祷、配餐、感謝の祈祷、讚美歌、祝祷、また、時として献金である（礼拝指針八章）。

一、制定の御言葉

マタイによる福音書二六章二六～二九節

マルコによる福音書一四章二二～二五節

ルカによる福音書二二章一四～二三節

コリント人への第一の手紙一章二三―二九節

二、式 辞

イ、礼拝指針五十二条に基づく適切な奨励

口、大教理問答一六八―一七五、小教理問答九六―九七の交読、または抜粋朗読。

ハ、例

愛する兄弟姉妹。私たちは、今、聖餐式にあずかろうとしています。聖餐式は主イエスが、十字架に架けられる前の夜、弟子たちと最後の食事をしたときに制定された礼典です。その夜、主は、パンを裂いて弟子たちに与え、また、ぶどう酒の杯を取って弟子たちにお与えになり、再臨の日まで主の死を記念してこれを守るようにお命じになりました。

それは、今、この目をもってパンとぶどう酒を見るように、私たちの罪のために十字架の上で死なれた贖い主を、信仰の目をもって見るためです。

また、主を信じる私たちがパンとぶどう酒を受けるとき、贖いのすべての恵みを示され保証されるためです。

更に、復活の主の再臨の日に、永遠の御国の交わりに入れられることを待ち望むため

です。

従って、聖餐を受ける者は、神の御前に、自分自身を吟味し、悔い改めと信仰を表わさなければなりません。また、主をかしらとする教会のえだであることを覚え、愛の一致を表わさなければなりません。そのとき、主は、陪餐によって、贖いの死と復活のすべての恵みを、この教会に満たし、献身の心を新たにしてください。

三、招きの言葉

愛する兄弟姉妹たち。主イエス・キリストは、「わたしが命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決してかわくことがない。父がわたしに与えて下さる者は皆、わたしに来るであろう。そして、わたしに来る者を決して拒みはしない」と招いておられます。すなわち、主イエス・キリストを、神の御子また罪人の救主と信じ、聖霊の恵みに謙虚に信頼し、キリストのしもべとしてふさわしく生きることを決心し約束している者は、すべてこの聖餐に招かれています。

他教会あるいは他教派の会員であっても、同じ告白をしている方は、主にある兄弟姉妹ですから、私たちと共にこの聖餐式に参加されますように。

しかし、まだ信仰を告白していない未陪餐会員と洗礼を受けていない求道者は、聖餐

を受けることができません。主がそのような方を信仰告白に導き、この特権に加わる日を早くお与えくださるよう祈ります。

また、陪餐停止あるいは除名の戒規の下にある者も聖餐を受けることはできません。どうか主が、そのような人を悔い改めに導き、この恵みに再び浴し得る日を早くお与えくださるよう祈ります。

(このような人々は、配られるパンとぶどう酒を受け取らないようにしてください)
四、聖別の祈禱

恵み深い父なる神よ。私たちがまだ罪人であったとき、御子イエス・キリストが十字架の上に死に私たちの贖いとなってくださいましたことを、心から感謝いたします。願わくは、その主のいつくしみと十字架の苦しみを深く覚えさせてください。

願わくは、今、このパンとぶどう酒を祝福し、私たちの霊のまことの食べ物、飲み物として聖別してください。願わくは、御前に碎かれた魂をもって主の肉と血を受け、ことに、とこしえの命にあずかっていることを確信させてください。また、御前に集まる私たちが、主イエス・キリストにあつて一つであることを覚えて、聖徒の交わりをいよいよ固くすることができますように。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

五、配餐

パンの配餐

(司式者は、パンを取って裂き、次のように言って分配する)

私たちの主イエスは、渡される夜、パンを取り、感謝してこれを裂き、私が今イエスの名によってこのパンをあなたがたに与えるように、その弟子たちに与えて言われました。

「取って食べよ。これは、あなたがたのために裂かれたわたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい。」

ぶどう酒の配餐

(司式者は、杯を取り、次のように言って分配する)

私たちの救主は、同じように杯を取り、感謝して、今イエスの名によって与えるように、杯を弟子たちに与えて言われました。

「この杯は、罪のゆるしを得させるように、多くの人のために流すわたしの血で立てられた、新しい契約である。みな、この杯から飲め。」

(通常、教師が信者に先立ってあずかり、長老が信者に分配した後、教師が長老に分配する。教師は、パンとぶどう酒の配餐に漏れた信者がいないか確認すること)

六、感謝の祈祷

イ、例

恵み深い父なる神よ。私たちは、恵みによって御名のうちに加えられながらも、なお罪を犯し、悔いてはまた犯す、まことに汚れた身であります。あなたは私たちを捨てることなく、今、聖餐の恵みにあずかせてくださいましたことを、心から感謝いたします。

願わくは、私たちをとこしえに主と共におらせ、栄光を現わすに足る者としてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

ロ、例

恵み深い父なる神よ。あなたの限りない憐れみをもって、しもべたちを聖餐の恵みにあずかせてくださいましたことを感謝いたします。また、あなたが聖餐式をとおし、主イエス・キリストの十字架の贖いと復活の命の恵みを、私たちのうちに確かにしてくださいましたことを感謝いたします。

願わくは、今から後、この恵みに生かされ、喜びと感謝をもつて教会に仕え、主が再び来られる日を、いよいよ切に待ち望む者としてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

第三章 小会が執行する諸式

一、転 入 式

一、日本基督改革派教会の会員が入会することを転入という。

二、小会あるいは宣教教師は志願者に所属教会の薦書の提出を求め、信仰と生活についてあらかじめ試問をすること（政治規準六十六条二項一号、訓練規定百三十四条二項）。

三、転入式は教師が司式し、通常、公的礼拝において執行する（訓練規定百三十四条二項）。

一、聖 書

ヨハネによる福音書一五章一―五節

二、式 辞 (誓約者は前に進み出る)

私たちは、今ここに、() の転入式を挙げようとしています。この兄弟〔姉妹〕は、私たちと信仰を同じくする日本基督教改革派() 教会〔伝道所〕の会員ですが、この度、当教会〔伝道所〕への転入を願ひ出られました。小会〔宣教師〕は、在籍教会の薦書を受け、信仰と生活について慎重に試問した結果、この願ひを受け入れることにしました。

三、誓 約

() ()、あなたは、この教会〔伝道所〕に転入するにあたり、次の誓約をしなければなりません。

あなたは、自己の最善を尽して教会の礼拝を守り、この教会の働きにあずかり、これをサポートし、その純潔と平和のために努めることを約束しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

四、祈 禱

恵み深い父なる神よ。あなたは、日本基督教改革派教会を祝して各地に多くの教会を建て、救われる者を御翼の下に集めてくださいます。今、愛するこの兄弟〔姉妹〕〔とその子〕

を私たちの教会の交わりに加えてくださいますことを感謝いたします。

願わくは、兄弟〔姉妹〕が誓いを誠実に果たして良いあかしを立て、御栄えを現わすことができるように助けてください。

また、私たちも、兄弟〔姉妹〕を送り出した教会のために祈ると共に、兄弟〔姉妹〕と主にある交わりを深め、あなたに仕える熱心を新たにすることができるよう導いてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

五、宣 言

あなたは、今この教会〔伝道所〕に転入し、私たちの交わりに入られました。それゆえ、あなたは、この教会〔伝道所〕の会員としてすべての特権を与えられたことを宣言します。

「どうか、平和の神ご自身が、あなたがたを全くきよめて下さるように。また、あなたがたの霊と心とからだを完全に守って、わたしたちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのない者にして下さるように。あなたがたを召されたかたは真実であられるから、このことをして下さるであろう。」(第一テサロニケ五章 二二三)

二四節

六、紹介

二、加入式

- 一、他教派の会員が入会することを加入という。
- 二、小会あるいは宣教教師は志願者に、所属教会よりの送籍書、薦書、退会証等の提出を求め、受洗の有無を確かめ、加入理由と信仰と生活について、あらかじめ試問すること（政治規準六十六条二項一号、訓練規定百三十四条三項）。
- 三、加入式は教師が司式し、通常、公的礼拝において執行する（訓練規定百三十四条三項）

一、聖書

ヨハネによる福音書一五章一―五節

二、式 辞（誓約者は前に進み出る）

私たちは、今ここに、（ ）の加入式を挙げようとしています。この兄弟〔姉妹〕は、

() 教会の会員ですが、この度、当教会〔伝道所〕への加入を願いました。
小会〔宣教師〕は、在籍教会の送籍書〔薦書・退会証等〕を受け、兄弟〔姉妹〕の加入理由並びに信仰と生活について慎重に試問した結果、私たちの教会の交わりに受け入れることにしました。

三、誓約

()、あなたは、主イエス・キリストを信じて洗礼を受けましたが、私たちの教会〔伝道所〕に加入するにあたり、私たちと同じ信仰を告白し、誓約しなければなりません。

一、あなたは、天地の造り主、唯一の生けるまことの神のみを信じますか。

二、あなたは、自分が神の前に罪人であり、神の怒りに値し、神のあわれみによらなければ、望みのないことを認めますか。

三、あなたは、主イエス・キリストを神のみ子、また罪人の救い主と信じ、救いのために、福音において提供されているキリストのみを受け入れ、彼にのみより頼みますか。

四、あなたは今、聖霊の恵みに謙虚に信頼し、キリストのしもべとしてふさわしく生きることを、決心し約束しますか。

五、あなたは、最善をつくして、教会の礼拝を守り、その活動に奉仕し、教会を維持することを、約束しますか。

六、あなたは、日本基督教改革派教会の政治と戒規とに服し、その純潔と平和とのために努めることを、約束しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

四、祈 禱

恵み深い父なる神よ。今、御子キリストの教会に連なる愛する兄弟〔姉妹〕（とその子）を祝して、私たちの教会の交わりに加えてくださいますことを感謝いたします。

願わくは、私たちと同じ思いで主に仕えるこの兄弟〔姉妹〕に、あなたの武器を装わせ、信仰の戦いを立派に戦い、忠実な奉仕をもって、御栄えを現わすことができるように助けてください。

また私たちも、兄弟〔姉妹〕を送り出した教会のために祈ると共に、兄弟〔姉妹〕と主にある交わりを深め、あなたに仕える熱心を新たにすることができるよう導いてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

五、宣言

あなたは、今この教会〔伝道所〕に加入し、私たちの交わりに入れられました。それゆえ、あなたは、この教会〔伝道所〕の会員として、すべての特権を与えられたことを宣言します。

「どうか、平和の神ご自身が、あなたがたを全くきよめて下さるように。また、あなたがたの霊と心とからだとを完全に守って、わたしたちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのない者にして下さるように。あなたがたを召されたかたは真実であられるから、このことをして下さるであろう。」（第一テサロニケ五章二三―二四節）

六、紹介

三、長老任職・就職式

- 一、政治規準第八章、第二十二章を参照のこと。
- 二、司式は、牧師または同一中会の教師があたること。

三、按手には、小会が招いた教師・長老が加わってもよい。

四、公的礼拝において執行するときは、頌栄、祝祷を省いてもよい。

一、聖書

使徒行伝二〇章一七〜三五節

テモテへの第一の手紙三章一〜七節

テトスへの手紙一章六〜九節

ペテロの第一の手紙五章一〜五節

二、式辞

(誓約者は前に進み出る)

日本基督改革派() 教会小会は、今ここに、() の長老任職〔就職〕式
を執行しております。

そもそも長老には、特に御言葉と礼典に仕える宣教長老と、教会を治める治会長老とがあります。今、兄弟が任じられるのは、治会長老の職であって、その職務は、教会のかしらであるキリストの御名の下に牧師と協力して教会を治め、また、説教の結ぶ実を見守りつつ、主の羊たちを個別に治めることです。

それゆえ治会長老は、このきよい職務を果たすため、敬虔な生活を保ち、福音の良いあかしを立てなければなりません。

「ゆだねられた者たちの上に権力をふるうことをしないで、むしろ、群れの模範となるべきである。そうすれば、大牧者が現われる時には、しほむことのない栄光の冠を受けるであろう。」(第一ペテロ五章三〜四節)

三、誓約

(任職・就職式のときは一〜七の誓約を行い、就職式のときは六、七の誓約を行う)

()、あなたは、今、「長老に任じられ」、この教会の長老として就職しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

一、あなたは旧・新約聖書が神のことばであり、信仰と生活の唯一の誤りなき規準であると信じますか。

二、あなたは、私たちの教会の信仰規準を、聖書の真理を体系的に示すものとして誠実に受け入れますか。

三、あなたは、私たちの教会の教会規程に従うことを誓約しますか。

四、あなたは、神の恵みによってこの職務に召されたことを確信し、神とキリストの教

会への愛によってこの職務を遂行することを誓約しますか。

五、あなたは、いかなる場合にも、教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。

六、あなたは、今、この教会の治会長老の職務に就こうとしています。あなたは、その任務を忠実に果たし、生活において福音の告白を飾り、託された人々の前に敬虔の模範となるように努力することを誓約しますか。

七、あなたは、牧師および先任の治会長老と共に、小会議員として忠実に教会を治め、群れを見守り、与えられた権能を正しく行使することを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をもお与え下さるように。アーメン。

四、教会員の誓約

(陪餐会員起立)

一、主は、あなたがたが選んだこの愛する兄弟を、今、あなたがたの治会長老として遣わされます。あなたがたは、真心から喜びと敬意をもって、この兄弟を治会長老と

して受け入れることを誓約しますか。

二、あなたがたは、彼に対して、御言葉と私たちの教会の憲法が認める名誉と励ましと従順とを与えることを誓約しますか。

(教会員は、挙手によって誓約の意思を表わす)

五、按 手

(司式者は、当人をひざまずかせ、小会議員と共に按手して、次の祈禱をささげる。
就職式の場合は按手は行わない)

六、任職と就職の祈禱

恵み深い父なる神よ。今、あなたが召されたしもべを、私たちの教会の長老としてお立てくださったことを感謝します。願わくは、今から後、この兄弟に、豊かな恵みを与え、聖霊を注ぎ、信仰においても徳においても全会衆を導くことができる者としてください。

願わくは、死に至るまで、忠実に主に仕え、大牧者主イエス・キリストがおいでになるとき、栄光の冠を受け、「良い忠実なしもべ」として主の喜びに入れられる者としてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

七、任職と就職の宣言

日本基督教改革派（ ）教会小会は、今ここに、（ ）が御言葉に従い、また私たちの教会の憲法に従って、治会長老に「任職され、この教会の役員として」就職したことを宣言します。

八、勸告

あなたは、今、長老に聖別されました。あなたは、主キリストの召命を受けてこの職務に任命されたのですから、今から後、主は必ず必要なすべての恵みと知恵を授けてくださいます。

しかしまた、長老の職務には、誘惑が多いことを忘れてはなりません。あなたは、人を教会に入れる職能を与えられました。それゆえ、主の御名にふさわしくない者を教会に加えることがないように努めなさい。羊の皮をかぶった狼がこの群れに入り、群れを荒らすことがないように注意しなさい。

あなたは、信仰と生活において会衆の模範となり、常に聖書を研究し、祈りに励みなさい。牧師と同僚の長老のために祈り、教会と自分のために祈りなさい。あなたの信仰

が、口先だけにならないように敬虔の修業に励みなさい。すべてのことにおいて、主を模範としなさい。

願わくは、主イエス・キリストの恵みがあなたと共にあるように。アーメン。

九、頌 栄

一〇、祝 祷

一一、紹 介

四、執事任職・就職式

一、政治規準第九章、第二十二章を参照のこと。

二、司式は、牧師または同一中会の教師があたること。

三、按手には、小会が招いた教師・長老が加わってもよい。

四、公的礼拝において執行するときは、頌栄、祝祷を省いてもよい。

一、聖 書

マタイによる福音書二五章三一―四六節

使徒行伝第六章一〜七節

コリント人への第一の手紙二章一二〜二七節

テモテへの第一の手紙三章八〜一三節

二、式 辞

(誓約者は前に進み出る)

日本基督改革派 () 教会小会は、今ここに、() の執事任職〔就職〕式を行おうとしています。

そもそも執事の職務は、主イエス・キリストの模範に倣って、同情と奉仕の業を行い、聖徒の交わりを特に相互の助け合いにおいて具現させるものです。その愛の業は主が、「これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです」と言われたほど大きいものです。使徒行伝第六章によれば、施しの業が使徒たちにとって、重荷であることが分かると、教会は直ちに他の者たちを選んでこの務めに当たらせ、施しの業を別個の職務と認めました。それゆえ、執事は、教会員がささげたささげものを忠実に管理し、これによって貧しい者を助けて主に導き、御言葉と愛の業をもって悩む者を慰めるように努めなければなりません。

また、執事は、この清い務めがそしりを招かないよう敬虔な生活を保ち、福音の良いあかしを立てなければなりません。

三、誓約

(任職・就職式のときは一〜七の誓約を行い、就職式のときは六、七の誓約を行う)

()、あなたは、今、「執事に任じられ」、この教会の執事として就職しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

一、あなたは、旧・新約聖書が神のことばであり、信仰と生活の唯一の誤りなき規準であると感じますか。

二、あなたは、私たちの教会の信仰規準を、聖書の真理を体系的に示すものとして誠実に受け入れますか。

三、あなたは、私たちの教会規程に従うことを誓約しますか。

四、あなたは、神の恵みによってこの職務に召されたことを確信し、神とキリストの教会への愛によってこの職務を遂行することを誓約しますか。

五、あなたは、いかなる場合にも、教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓

約しますか。

六、あなたは、今、この教会の執事の職務に就こうとしています。あなたは、その任務を忠実に果たし、生活において福音の告白を飾り、託された人々の前に、敬虔の模範となるように努力することを誓約しますか。

七、あなたは、主イエス・キリストの模範に従い、聖徒の交わり、特に乏しい者との交わりにおいて同情と奉仕をなし、また教会の維持のために努力することを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をお与え下さるように。アーメン。

四、教会員の誓約

(陪餐会員起立)

一、主は、あなたがたが選んだこの愛する兄弟〔姉妹〕を、今、あなたがたの執事として遣わされます。あなたがたは、真心から喜びと敬意をもって、この兄弟〔姉妹〕を執事として受け入れることを誓約しますか。

二、あなたがたは、彼に對して、御言葉と私たちの教会の憲法が認める名譽と勵ましと従順とを与えることを誓約しますか。

(教會員は、挙手によつて誓約の意思を表わす)

五、按 手

(司式者は、当人をひざまずかせ、小會議員と共に按手して、次の祈禱をささげる。就職式の場合は、按手は行わない)

六、任職と就職の祈禱

恵み深い父なる神よ。今、あなたが召されたしもべを、私たちの教会の執事としてお立てくださったことを感謝します。願わくは、この兄弟〔姉妹〕に聖靈を豊かに注ぎ、喜びと感謝をもつてその任務にあたらせてください。願わくは、兄弟〔姉妹〕に必要な力と慰めとを与え、その生涯を祝福してください。

主イエス・キリストの御名によつてお祈りいたします。アーメン。

七、任職と就職の宣言

日本基督教改革派() 教会小会は、今ここに、() が御言葉に従い、また私たちの教会の憲法に従つて、執事に〔任職され、この教会の役員として〕就職したこ

とを宣言します。

八、勸告

あなたは、今、執事に聖別されました。あなたは、主イエス・キリストの召命を受けてこの職務に任命されたのですから、今から後、主は必ず必要なすべての賜物を与えてくださいます。

あなたは、教会の交わりのために尽くし、殊に、奉仕の業に励み、牧師、長老が宣教と治会の務めに専心できるように努めなさい。勤勉忠実な奉仕によって、教会員の模範となりなさい。教会の内外にキリストの愛を示し、キリストの救いを伝え、神の民に忠実に仕えなさい。務めて怠らなければ、主は、必ずあなたを祝福してくださいます。主イエスが、「主人が帰ってきたとき、そのようにつとめているのを、見られる僕は、さいわいである。よく言っておくが、主人は彼を立てて自分の全財産を管理させるであろう」と約束しておられるとおりです（マタイ二四章四六〜四七節）。

願わくは、私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたと共にあるように。アーメン。

九、頌栄

一〇、祝 禱

一一、紹 介

五、教会学校校長就任式

一、教会学校を設立管理することは小会の任務である（政治規準六十六條二項七号、訓練規定六條、礼拝指針四章）。

二、小会は、すべての教会学校を監督し、校長を選任する（礼拝指針三十一條）。

三、司式は、牧師または適当な教師があたること。

四、牧師が校長を兼任するときは、就任式を省略する。

五、日曜学校校長就任式の場合はこれに準じて行う（礼拝指針二十八條）。

一、聖 書

詩篇七八篇一〜八節

ルカによる福音書一八章一五〜一七節

ヨハネによる福音書二一章一五〜一七節

エペソ人への手紙六章一～四節

テモテへの第二の手紙三章一四～一七節

二、式 辞

(誓約者は前に進み出る)

日本基督改革派() 教会小会は、今ここに、() の教会〔日曜〕学校校長就任式を行おうとしています。

そもそも教会学校は、「主イエス・キリストにおいて啓示された神への信仰・キリストに対する救い主また主としての告白・キリストとの生命的交わり・キリスト者生活と教会員生活への明確な献身・教会の全活動への参与などによるキリスト者の成長と完成」を目的としています(礼拝指針二十八条)。

聖書も、「わたしたちすべての者が、神の子を信じる信仰の一致と彼を知る知識の一致とに到達し、全き人となり、ついに、キリストの満ちみちた徳の高さにまで至る」ことを教会の教育組織の目標として教えています(エペソ四章一三節)。

この目的のために、校長は、小会の監督の下に教会学校を管理し、牧師の助けを得てすべての教育課程を整え、教会学校教師を小会に推薦すると共に、自らその良い模範、

指導者となる任務を帯びるものです。

それゆえ、校長は、教会学校教師たちと共に、真理の御霊の助けを祈り求めつつ、愛と熱心をもって奉仕すべきであります。

三、誓約

()、あなたは今、当教会の教会学校校長に就任しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

一、あなたは、旧・新約聖書が神のことばであり、信仰と生活の唯一の誤りなき規準であると思えますか。

二、あなたは、私たちの教会の信仰規準を、聖書の真理を体系的に示すものとして誠実に受け入れますか。

三、あなたは、小会の監督の下にこの任務を果たし、召命にふさわしい生活において福音の告白を飾り、群れの模範となるように努めることを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をお与え下さるよう。アーメン。

四、就任の祈祷

恵み深い父なる神よ。あなたは、旧約時代においても新約時代においても、真理の御霊によってあなたの選びの民に信仰を与え、それを全うするために両親と教会に教育の責任をゆだねられました。主イエス御自身も、知恵にあふれた愛と忍耐をもって弟子たちを訓練し、福音の信仰と知識とに教え導かれました。

あなたが今、私たちの愛するこの兄弟〔姉妹〕を召して、教会学校の校長としてくださったことを感謝いたします。願わくは、兄弟〔姉妹〕が、喜びと感謝をもってその任務を果たすことができるように、聖霊を豊かに注ぎ、必要なすべての賜物をお与えください。願わくは、教会員一同が、教会学校の働きに関心を寄せ、そのために祈り、協力を惜しまず、その働きに参加することができるようにお導きください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

五、紹介

六、会堂起工式

- 一、司式は、牧師、宣教師または適当な教師があたること。
- 二、牧師館、教会学校教室、定礎式の場合もこれに準じること。
- 三、起工式の中に異教的な習慣が入らないようにすること。

一、讚美歌

二、聖書

歴代志上二九章一〜九節

コリント人への第一の手紙三章一〇〜一七節

エペソ人への手紙二章二〇〜二二節

ペテロの第一の手紙二章一〜一〇節

三、式辞

日本基督教改革派（ ）教会〔伝道所〕は、今ここに、三位一体の神の御名によって集まり、会堂起工式を行おうとしています。

この会堂は、私たちが御名をあがめて礼拝し、また、救いの福音を宣べ伝え、主の礼典を行うために用いられます。

私たちは今、心からへりくだって、この会堂のかしら石となつてくださる主イエス・キリストの恵みを求め、主がこの事業を導き、工事を進ませ、完成に至らせてくださるよう祈り求めましょう。

この業は、すべて主によつて始められ、主によつて続けられ、主によつて終えられなければなりません。それは、この会堂によつて、神のきよい御名があがめられ、人々が憐れみを受けて、主イエス・キリストによる永遠の命へと導かれるからです。

四、祈 禱

恵み深い父なる神よ。この世界とその中にあるすべてのものをお造りになつたあなたは、人の手で造つた宮を必要とされません。けれども、あなたのきよい目的のためにあなたを礼拝し、御言葉を宣べ伝える所を、求めておられます。あなたが私たちを導いてこの地を選び、ここに会堂建築の計画を立てさせ、今、工事に着手させてくださることを感謝いたします。どうか、私たちの業を用いて御栄えを現わしてください。

主イエス・キリストの御名によつてお祈りいたします。アーメン。

五、鍬入れ

(司式者と長老・諸団体代表が鍬入れを行う)

六、宣言

私は今、日本基督教改革派()教会(伝道所)会堂が、神の栄光のために、ここに建築されることを宣言します。すでに据えられた基礎以外に、だれも基礎を置くことはできません。この基礎はイエス・キリストです。アーメン。

七、祈禱

恵み深い父なる神よ。あなたは、主イエス・キリストを隅のかしら石とし、使徒と預言者の基礎の上にあなたの生きた宮を建てられます。どうか、あなたの聖徒が寄り集まり御栄えを現わすことができるように、この会堂建築の業を祝福してください。どうか、今後、工事担当者を助けてすべての危険から守り、無事竣工させ、感謝をもって会堂を御前にささげることができるようになってください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

八、頌栄

九、祝禱

七、献堂式

一、司式は、牧師、宣教師または適当な教師があたること。

二、牧師館、教会学校教室の場合もこれに準じること。

一、讚美歌

二、聖書

列王紀上八章二二〜三〇節

テモテへの第一の手紙三章一四〜一六節

ヘブル人への手紙一〇章一九〜二五節

三、式辞

日本基督改革派（ ）教会〔伝道所〕は、今ここに、三位一体の神の御名によって集まり、新会堂の献堂式を行おうとしています。

恵みに富みたまう神は、私たちが神を礼拝し、その御名をあがめるために、先に教会堂建築の志を立てさせ、今日、これを完成させてくださいました。

この会堂は主のものであり、この会堂では救いの福音が宣べ伝えられ、主の礼典が執行されます。

それゆえ、ここに集まる私たちは、心を合わせて、この会堂が神のきよい目的のために正しくささげられるよう誓いを新たにしなければなりません。

四、祈 禱

恵み深い父なる神よ。この世界とそこにあるすべてのものをお造りになったあなたは、人の手で造った宮を必要とされません。しかし、あなたのきよい目的のためにあなたを礼拝し、御言葉を宣べ伝える所を求めておられます。

神よ。あなたは、教会堂建築の計画を祝し、遂にこれを完成させて、今、御前に式を執り行わせてくださることを感謝いたします。どうか、この式が御旨にかなひ、御栄えを現わすものにしてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

五、工事経過の報告

六、献堂の辞

(会衆起立)

愛する兄弟姉妹。私たちの神は、御名の栄光とその民の益のために、教会堂建築の業をすべて恵みのうちに終えさせてくださいました。

全能の神よ。私たちは、今、謹んでこの会堂をあなたにおささげします。

今から後、この建物は主のものとして聖別され、主の清い御用に用いられます。従つて、これを誤つて用いることなく、また、主以上に尊重して御名を汚してはなりません。

この教会に平安があるように。

この教会で礼拝する人々に平安があるように。

この教会を愛し、また主イエス・キリストを愛する人々に平安があるように。

この教会に出入りする人々に平安があるように。

「門よ、こうべをあげよ。とこしえの戸よ、あがれ。

栄光の王がはられる。

栄光の王とはだれか。

強く勇ましい主、戦いに勇ましい主である。

門よ、こうべをあげよ。とこしえの戸よ、あがれ。

栄光の王がはられる。

この栄光の王とはだれか。

万軍の主、これこそ栄光の王である。」アーメン。

(詩篇二四篇七〜一〇節)

七、讚美歌

八、祈 禱

恵み深い父なる神よ。私たちは、今、信仰と愛をもってこの会堂を御前にささげました。どうかこれをきよめて、ただ、御栄えのために用いてください。どうかこの所で私たちに御名をあげさせ、私たちに、常に御前にあることを覚えさせてください。どうかこの会堂を祈りの家として、常に御言葉に聞き、祈りと賛美を神にささげ、聖礼典を守り、聖徒の交わりを行う所としてください。どうかこの所で行われるすべての聖なる業を導いて、これを祝し、御国の民を集め、背いている者をあなたに立ち帰らせ、主にある者を更に恵みに富ませてください。どうか私たちに永遠の住み家を思わせ、天の家で親しくあなたに仕える備えをさせてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

九、祝 辞

(省略しても、あるいは式後に行ってもよい)

一〇、頌 栄

一一、祝 祷

第四章 中会が執行する諸式

一、教会設立式〔教会加入式〕

- 一、司式は、特命委員中の教師があたること。
- 二、特命委員は、事前に、長老〔執事〕候補者の試問を行わなければならない。
- 三、設立式の要素は、会衆の誓約、牧師の就職、長老〔執事〕の任職と就職、小会設立の誓約、小会設立の宣言、教会設立の宣言である(政治規準二十二条)。
- 四、按手には、特命委員会が招いた教師・長老が加わってもよい。
- 五、長老・執事の誓約のうち、一〜六は、一括して行ってもよい。

六、加入式は設立式に準じること（政治規準二十六条）。〔 〕は、加入式のた
めの変更分。

一、讚美歌

二、聖書

マタイによる福音書一六章一三〜一九節

コリント人への第一の手紙三章一〇〜一七節

エペソ人への手紙一章一五〜二三節

三、祈 禱

恵み深い父なる神よ。あなたは、この所に、あなたのしもべらを興し、純正な御言葉
の説き明かしと、きよい教会政治と信仰生活とを求めて集まる日本基督教改革派（ ）
教会を設立しようとしておられます。願わくは、今、主イエス・キリストの御名のゆえ
に集まる私たちに臨んでくださり、御前に、新しい教会の門出にふさわしい設立式を挙
げさせてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

四、経過報告

(教会設立〔加入〕準備委員による経過報告。但し、文書をもって代えてもよい)

五、点呼

(現住陪餐会員の点呼)

六、教会員の誓約

(陪餐会員起立)

一、あなたがたは、今ここに、かしらなるキリストに連なるえだとしての一個の教会を設立するにあたり、日本基督改革派教会の信仰規程及び教会規程に従ってこれを組織し、その自治を遂行することを誓約しますか。

二、あなたがたは、神の恵みとみ力に信頼して、キリストの教会の純潔と一致のために努力することを誓約しますか。

(加入の場合)

三、あなたがたは、今ここに、日本基督改革派教会に所属する一個の教会を設立するにあたり、私たちの教会の信仰規程及び教会規程を受け入れ、これに従い、キリストの教会の純潔と一致と平和とのために努力することを誓約しますか。

(教員は、挙手によって誓約の意思を表わす)

七、長老の任職と就職

一、式 辞

(誓約者は前に進み出る)

日本基督改革派教会 () 中会は、今ここに、() の長老任職〔就職〕式
を行おうとしています。

そもそも長老には、特に御言葉と礼典に仕える宣教長老と、教会を治める治会長老と
があります。今、兄弟が任じられるのは、治会長老の職であつて、その職務は、教会の
かしらであるキリストの御名の下に牧師と協力して教会を治め、また、説教の結ぶ実を
見守りつつ、主の羊たちを個別に治めることです。

それゆえ治会長老は、このきよい職務を果たすため、敬虔な生活を保ち、福音の良い
あかしを立てなければなりません。

「ゆだねられた者たちの上に権力をふるうことをしないで、むしろ、群れの模範とな
るべきである。そうすれば、大牧者が現われる時には、しほむことのない栄光の冠を受
けるであろう。」(第一ペテロ五章三―四節)

二、誓約

(任職・就職式のときは一〜七の誓約を行い、就職式のときは六、七の誓約を行う)

()、あなたは、今、「長老に任じられ」、この教会の長老として就職しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

1. あなたは、旧・新約聖書が神のことばであり、信仰と生活の唯一の誤りなき規準であると信じますか。

2. あなたは、私たちの教会の信仰規準を、聖書の真理を体系的に示すものとして誠実に受け入れますか。

3. あなたは、私たちの教会の教会規程に従うことを誓約しますか。

4. あなたは、神の恵みによってこの職務に召されたことを確信し、神とキリストの教会への愛によってこの職務を遂行することを誓約しますか。

5. あなたは、いかなる場合にも、教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。

6. あなたは、今、この教会の治会長老の職務に就こうとしています。あなたは、その任務を忠実に果たし、生活において福音の告白を飾り、託された人々の前に敬虔の

模範となるように努力することを誓約しますか。

7. あなたは、牧師および先任の治会長老と共に、小会議員として忠実に教会を治め、群れを見守り、与えられた権能を正しく行使することを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をお与え下さるように。アーメン。

三、教会員の誓約

(陪餐会員起立)

1. 主は、あなたがたが選んだこの愛する兄弟を、今、あなたがたの治会長老として遣わされます。あなたがたは、真心から喜びと敬意をもって、この兄弟を治会長老として受け入れることを誓約しますか。

2. あなたがたは、彼に対して、御言葉と私たちの教会の憲法が認める名誉と励ましと従順とを与えることを誓約しますか。

(教会員は、挙手によって誓約の意思を表わす)

四、按 手

(司式者は、当人をひざまずかせ、特命委員と共に按手して、次の祈禱をささげる。就職式の場合は按手を行わない)

五、任職と就職の祈禱

恵み深い父なる神よ。今、あなたが召されたしもべを、私たちの教会の長老としてお立てくださったことを感謝します。願わくは、今から後、この兄弟に、豊かな恵みを与え、聖霊を注ぎ、信仰においても徳においても全会衆を導くことができる者としてください。願わくは、死に至るまで、忠実に主に仕え、大牧者主イエス・キリストがおいでになるとき、栄光の冠を受け、「良い忠実なしもべ」として主の喜びに入れられる者としてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

六、任職と就職の宣言

日本基督教改革派教会 () 中会は、今ここに、() が御言葉に従い、また私たちの教会の憲法に従って、治会長老に〔任職され、この教会の役員として〕就職したことを宣言します。

八、執事の任職と就職

一、式 辞

(誓約者は前に進み出る)

日本基督教改革派教会 () 中会は、今ここに、() の執事任職〔就職〕式
を行おうとしています。

そもそも執事の職務は、主イエス・キリストの模範に倣って、同情と奉仕の業を行い、
聖徒の交わりを特に相互の助け合いにおいて具現させるものです。その愛の業は主が、
「これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしに
したのです」と言われたほど大きいものです。使徒行伝第六章によれば、施しの業が使
徒たちにとって重荷であることが分かります。教会は直ちに他の者たちを選んでこの務め
に当たらせ、施しの業を別個の職務と認めました。それゆえ、執事は、会員がささげ
たささげものを忠実に管理し、これによって貧しい者を助けて主に導き、みことばと愛
の業をもって悩む者を慰めるように努めなければなりません。

また、執事は、このきよい務めがそしりを招かないよう敬虔な生活を保ち、福音の良
いあかしを立てなければなりません。

二、誓約

(任職・就職式のときは一〜七の誓約を行い、就職式のときは六、七の誓約を行う)

()、あなたは、今、「執事に任じられ」、この教会の執事として就職しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

1. あなたは、旧・新約聖書が神のことばであり、信仰と生活の唯一の誤りなき規準であると信じますか。

2. あなたは、私たちの教会の信仰規準を、聖書の真理を体系的に示すものとして誠実に受け入れますか。

3. あなたは、私たちの教会規程に従うことを誓約しますか。

4. あなたは、神の恵みによってこの職務に召されたことを確信し、神とキリストの教会への愛によってこの職務を遂行することを誓約しますか。

5. あなたは、いかなる場合にも、教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。

6. あなたは、今、この教会の執事の職務に就こうとしています。あなたは、その任務を忠実に果たし、生活において福音の告白を飾り、託された人々の前に、敬虔の模

範となるように努力することを誓約しますか。

7. あなたは、主イエス・キリストの模範に従い、聖徒の交わり、特に乏しい者との交わりにおいて同情と奉仕をなし、また教会の維持のために努力することを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をもお与え下さるよう。アーメン。

三、教会員の誓約

(陪餐会員起立)

1. 主は、あなたがたが選んだこの愛する兄弟〔姉妹〕を、今、あなたがたの執事として遣わされます。あなたがたは、真心から喜びと敬意をもって、この兄弟〔姉妹〕を執事として受け入れることを誓約しますか。
2. あなたがたは、彼に対して、御言葉と私たちの教会の憲法が認める名誉と励ましと従順とを与えることを誓約しますか。

(教会員は、挙手によって誓約の意思を表わす)

四、按 手

(司式者は、当人をひざまずかせ、特命委員と共に按手して、次の祈禱をささげる。

就職式の場合は、按手は行わない)

五、任職と就職の祈禱

恵み深い父なる神よ。今、あなたが召されたしもべを、私たちの教会の執事としてお立てくださったことを感謝します。願わくは、この兄弟〔姉妹〕に聖霊を豊かに注ぎ、喜びと感謝をもってその任務に当たらせてください。願わくは、兄弟〔姉妹〕に必要な力と慰めとを与え、その生涯を祝福してください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

六、任職と就職の宣言

日本基督教改革派教会 () 中会は、今ここに、() が御言葉に従い、また私たちの教会の憲法に従って、執事に〔任職され、この教会の役員として〕就職したことを宣言します。

九、牧師の就職

一、式 辞

(誓約者は前に進み出る)

日本基督改革派教会() 中会は、今ここに、() 教師の() 教会牧師〔協

力牧師〕就職式を挙げようとしています。

そもそも牧師〔協力牧師〕は、御言葉の役者であつて、聖書に示された主の御言葉を群れに説き明かし、それによつて彼らに恵みを得させ、また、主にある訓戒と慰めとによつて、キリストによる悔い改めと神に対する和解とに導く務めを持っています。更に牧師〔協力牧師〕は、聖書の真理を擁護し、すべての誤謬を打ち砕き、その群れに救いの道を教え諭すだけでなく、御言葉をもつて病める者を慰める務めも持っています。それゆえ、使徒パウロも、「すべてこれらの事は、神から出ている。神はキリストによつて、わたしたちをご自分に和解させ、かつ和解の務をわたしたちに授けて下さつた。すなわち、神はキリストにおいて世をご自分に和解させ、その罪過の責任をこれに負わせることをしないで、わたしたちに和解の福音をゆだねられたのである。神がわたしたちをとおして勧めをなさるのであるから、わたしたちはキリストの使者なのである。そこ

で、キリストに代って願う。神の和解を受けなさい」(第二コリント五章一八〜二〇節)と言ひ、また、「教にかなつた信頼すべき言葉を守る人でなければならぬ。それは彼が健全な教によつて人をさとし、また、反対者の誤りを指摘することができるとある」(テトス一章九節)と教えて、この職務の重大なことを説きました。

第二に、牧師〔協力牧師〕は、礼典をつかさどる務めを持っています。礼典は、恵みの手段として主が定められた制度であり、使徒たちを経て教会に伝えられたものですから、御言葉の役者は、この礼典の重大さに留意しなければなりません。

第三に、牧師〔協力牧師〕は、教会員のために、常に祈らなければなりません。「そこで、まず第一に勧める。すべての人のために、王たちと上に立っているすべての人々のために、願いと、祈りと、とりなしと、感謝とをささげなさい。それはわたしたちが、安らかで静かな一生を、真に信心深くまた謹厳に過ごすためである。これは、わたしたちの救主である神のみまえに良いことであり、また、みこころにかなうことである。」(第一テモテ二章一〜三節)

第四に、牧師〔協力牧師〕は、〔協力牧師・牧師〕長老と共に教会員を訓練し、主が命じられたように教会を治める者です。主キリストは使徒に対し、「わたしは、あなた

に天国のかぎを授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつなぐがれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう」(マタイ一六章一九節)と教えられました。更に使徒パウロも、「自分の家を治めることも心得ていない人が、どうして神の教会を預かることができようか」(第一テモテ三章五節)と教えて、この務めが、神の家司、監督、群れの監視者と言われる理由を明らかにしているとおりです。

二、誓約

()、あなたは、今、() 教会の牧師〔協力牧師〕に就職しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

1. あなたは、神の恵みによってこの職務に召されたことを確信し神への愛と福音を宣べ伝える熱心によってのみ、この務めを遂行することを誓約しますか。

2. あなたは、いかなる場合にも、福音の真理及び教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。

3. あなたは、キリスト者また福音の役者としての義務を果たし、生活において福音の告白を飾り、託された人々の前に敬虔の模範となるように努力することを誓約しますか。

4. あなたは、この教会の招聘に応じて、牧師〔協力牧師〕の務めを行うにあたり、この人々を愛し、神の恵みと力によって、喜んで義務を果たすことを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力もお与え下さるよう。アーメン。

三、教会員の誓約

(陪餐会員起立)

1. 主は、あなたがたの選んだこの愛する兄弟を、今、あなたがたの牧師〔協力牧師〕として遣わされます。あなたがたは、真心から喜びと敬虔をもつて、この兄弟をみことばの役者として受け入れることを誓約しますか。

2. 主は、牧師〔協力牧師〕の務めとして、教え、勧め、また戒めることを命じられました。あなたがたは、彼が聖書に従って語る言葉を、真理として受け入れることを誓約しますか。

3. 牧師〔協力牧師〕は、大きな責任を身に帯びて、託された人々を守るものです。あなたがたは、彼に対し、使徒たちが命じるように従順であることを誓約しますか。

4. 牧師〔協力牧師〕は、宣教によって人を神の国に導く特権をゆだねられたものです。

あなたがたは、そのために言葉と行いをもって、彼を励まし、また助けることを誓約しますか。

（教会員は挙手によって誓約の意思を表わす）

四、就職の祈禱

恵み深い父なる神よ。あなたは、知恵と力とを用いて天と地とそのなかにあるすべてのものを造り、これを支え導いておられます。私たちは、真心からの賛美をもってあなたの御名をほめたたえます。

聖なる主よ。あなたは、独り子を賜わったほどに、私たちを愛してください、御子にあつて世を御自分と和解させ、且つ、和解の言葉をしもべたちに与えてくださいました。

私たちは、あなたがこの兄弟を選んで、（ ）教会の牧師〔協力牧師〕としてくださることを感謝いたします。願わくは、聖霊を豊かに与え、兄弟が御言葉の役者にふさわしい者とされ、常に命の御言葉を語り、魂を養い、福音の真理をもって罪人を主の救いに導くことができるようにしてください。願わくは、主の恵みによって兄弟の言葉と行いを神の御旨にかなうものとならせ、主の御栄光を現わし、常に教会員の模範とな

ることができるようになってください。

父なる神よ。特に（ ）教会を顧み、恵みを注いでください。教会員一人一人が、大きな喜びと感謝をもって（ ）牧師〔協力牧師〕を迎え、信頼と敬愛とをもって指導に従い、信仰から信仰に進み、柔和と謙遜をもって彼と共に励んで、主の業を全うすることができるようになってください。主の御霊がこの教会に満ちあふれ、ますます主の栄光を現わすことができるようになってください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

五、就職の宣言

日本基督教改革派教会（ ）中会は、今ここに、（ ）が、御言葉に従い、また私たちの教会の憲法に従って選ばれ、この教会の牧師〔協力牧師〕として就職したことを宣言します。

一〇、小会の設立

（牧師・長老起立）

一、小会設立の誓約

1. あなたがたは、今ここに、日本基督教改革派（ ）教会小会を設立するにあつ

り、教会のかしらなるキリストの主権と聖書の至上の権威に基づき、また私たちの教会の憲法に従って、あなたがたを役員として選んだこの教会の上に、あなたがたに与えられた権能を、正しく忠実に行使することを誓約しますか。

2. あなたがた牧師及び治会長老は、小会議員として、それぞれの権能を連带的に行使し、この教会及び日本基督教改革派教会全体の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。

(役員は挙手によって誓約の意思を表わす)

二、小会設立の宣言

日本基督教改革派教会() 中会は、今ここに、日本基督教改革派() 教会の小会が、御言葉に従い、また私たちの憲法に従って設立されたことを宣言します。

一、教会設立〔加入〕の宣言

日本基督教改革派教会() 中会は、今ここに、日本基督教改革派() 教会が、御言葉に従い、また私たちの憲法に従って設立された〔加入した〕ことを宣言します。

二、教会設立〔加入〕の祈禱

恵み深い父なる神よ。あなたは、御独り子、私たちの主イエス・キリストを世に遣わ

し、十字架の苦難と復活によって救いの業を成就し、主をかしらとする教会を興して御国を建設してください。あなたが、兄弟姉妹たちに志を立てさせ、ここにあなたの教会を設立〔加入〕させてくださったことを心から感謝いたします。

願わくは、この教会を世の光、地の塩としてください。あなたのしもべらに、主の教会を尊び愛して、御名の栄光を現わさせてください。願わくは、この教会を、人の支配する所、また世の富と力のつかさどる所とならせず、ただあなたのみが永遠に統べ治める所としてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

一三、問安祝福の辞

日本基督教改革派教会（ ）中会は、あなたがた（ ）教会の安否を問い、平安と祝福があるようにお祈りいたします。「どうか、平和の主ご自身が、いついかなる場合にも、あなたがたに平和を与えて下さるよう。主があなたがた一同と共におられるように。」アーメン。

一四、特命委員勧告

（牧師と教会に対する短い勧告）

一五、祝 辞

(省略しても、あるいは式後に行ってもよい)

一六、讚美歌

一七、祝 祷

二、伝道所設立式

一、政治規準第二十二条を参照のこと。

二、司式は、特命委員中の教師があたること。

三、加入式は、設立式に準じること。

一、讚美歌

二、聖 書

マタイによる福音書一六章一三〜一九節

コリント人への第一の手紙三章一〇〜一七節

エペソ人への手紙一章一五〜二三節

三、祈 禱

恵み深い父なる神よ。あなたは、この所に伝道所を興して福音を宣べ伝えさせ、聖なる礼拝と生活を願ひ求める民を集めようとしておられます。願わくは、今、主イエス・キリストの御名のゆえに集まる私たちに臨んでくださり、御前に、新しい伝道所の門出にふさわしい設立式を挙げさせてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

四、経過報告

(伝道所設立準備委員による経過報告。但し、文書をもって代えてもよい)

五、点 呼

(現住陪餐会員の点呼)

六、教会員の誓約

(陪餐会員起立)

一、あなたがたは、今ここに、かしらなるキリストに連なるえだとしての伝道所を設立するにあたり、日本基督教改革派教会の信仰規準及び教会規程に従ってこれを組織し、運営することを誓約しますか。

二、あなたがたは、神の恵みとみ力に信頼し、キリストの教会の純潔と一致のために努力することを誓約しますか。

(教会員は挙手によって誓約の意思を表わす)

七、宣教師の就職

一、式 辞

(誓約者は前に進み出る)

日本基督教改革派教会 () 中会は、今ここに、() 教師の () 伝道所宣教師就職式を挙げようとしています。

そもそも宣教師は、御言葉の役者であつて、聖書に示された主の御言葉を群れに説き明かし、それによって彼らに恵みを得させ、また、主にある訓戒と慰めとによつて、キリストによる悔い改めと神に対する和解とに導く務めを持っています。更に宣教師は、聖書の真理を擁護し、すべての誤謬を打ち砕き、その群れに救いの道を教え諭すだけでなく、御言葉をもつて病める者を慰める務めも持っています。それゆえ、使徒パウロも、「すべてこれらの事は、神から出ている。神はキリストによつて、私たちをご自分に和解させ、かつ和解の務めをわたしたちに授けて下さった。すなわち、神はキリス

トにおいて世をご自分に和解させ、その罪過の責任をこれに負わせることをしないで、わたしたちに和解の福音をゆだねられたのである。神がわたしたちをおして勧めをなさるのであるから、わたしたちはキリストの使者なのである。そこで、キリストに代つて願う、神の和解を受けなさい」(第二コリント五章一八〜二〇節)と言ひ、また、「教にかつた信頼すべき言葉を守る人でなければならぬ。それは、彼が健全な教によつて人をさとし、また、反対者の誤りを指摘することができるためである」(テトス一章九節)と教えて、この職務の重大なことを説きました。

第二に、宣教師は、礼典をつかさどる務めを持っています。礼典は、恵みの手段として主が定められた制度であり、主の御命令により使徒たちを経て教会に伝えられたものですから、御言葉の役者は、この礼典の重大さに留意しなければなりません。

第三に、宣教師は、教会員のために、常に祈らなければなりません。「そこで、まず第一に勧める。すべての人のために、主たちと上に立っているすべての人々のために、願いと、祈りと、とりなしと、感謝とをささげなさい。それはわたしたちが、安らかで静かな一生を、真に信心深くまた謹厳に過ごすためである。これは、わたしたちの救主である神のみまえに良いことであり、また、みこころにかなうことである。」(第一テモ

テ二章一―三節

第四に、宣教師は、中会からゆだねられた法治権に基づき、教会員を訓練し、主が命じられたように教会を治める者です。主キリストは使徒に対し、「わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつながら、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう」(マタイ一六章一九節)と教えられました。更に使徒パウロも、「自分の家を治めることも心得ていない人が、どうして神の教会を預かることができようか」(第一テモテ三章五節)と教えて、この務めが、神の家司、監督、群れの監視者と言われる理由を明らかにしているとおりです。

二、誓約

()、あなたは、今、() 伝道所の宣教師に就職しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

1. あなたは神の恵みによってこの職務に召されたことを確信し神への愛と福音を宣べ伝える熱心によってのみ、この務めを遂行することを誓約しますか。

2. あなたは、いかなる場合にも、福音の真理及び教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。

3. あなたは、キリスト者また福音の役者としての義務を果たし、生活において福音の告白を飾り、託された人々の前に敬虔の模範となるように努力することを誓約しますか。

4. あなたは、この伝道所の招聘に応じて、宣教師の務めを行うにあたり、この人々を愛し、神の恵みとみ力によって、喜んで義務を果たすことを誓約しますか。

5. あなたは、この伝道所における法治権の行使を、中会よりゆだねられた宣教師として、この権能を正しく且つ慎重に用いることを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をもお与え下さるよう。アーメン。

三、教会員の誓約

(陪餐会員起立)

1. 主は、あなたがたの選んだこの愛する兄弟を、今、あなたがたの宣教師として遣わされます。あなたがたは、真心から喜びと敬虔をもって、この兄弟を御言葉の役者として受け入れることを誓約しますか。

2. 主は、宣教師の務めとして、教え、勧め、また戒めることを命じられました。あなたがたは、彼が聖書に従って語る言葉を、真理として受け入れることを誓約しますか。

3. 宣教師は、大きな責任を身に帯びて、託された人々を守るものです。あなたがたは、彼に対し、使徒たちが命じるように従順であることを誓約しますか。

4. 宣教師は、宣教によって人を神の国に導く特権をゆだねられたものです。あなたがたは、そのために言葉と行いをもって、彼を励まし、また助けることを誓約しますか。

(教会員は挙手によって誓約の意思を表わす)

四、就職の祈祷

恵み深い父なる神よ。あなたは、知恵と力とを用いて天と地とそのなかにあるすべてのものを造り、これを支え導いておられます。私たちは、真心からの賛美をもってあなたの御名をほめたたえます。

聖なる主よ。あなたは、独り子を賜わったほどに、私たちを愛してください、御子にあって世を御自分と和解させ、且つ、和解の言葉をしもべたちに与えてくださいました。

私たちは、あなたがこの兄弟を選んで、（ ）伝道所の宣教師としてくださることを感謝いたします。願わくは、聖霊を豊かに与え、兄弟が御言葉の役者にふさわしい者とされ、常に命の御言葉を語り、魂を養い、福音の真理をもって罪人を主の救いに導くことができるようにしてください。願わくは、主の恵みによって兄弟の言葉と行いを神の御旨にかなうものとならせ、主の御栄光を現わし、常に教会員の模範となることができるようにしてください。

父なる神よ。特に（ ）伝道所を顧み、恵みを注いでください。教会員一人一人が、大きな喜びと感謝をもって（ ）宣教師を迎え、信頼と敬愛とをもって指導に従い、信仰から信仰に進み、柔和と謙遜をもって彼と共に励んで、主の業を全うすることができるようになってください。主の御霊がこの伝道所に満ちあふれ、ますます主の栄光を現わすことができるようにしてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

五、就職の宣言

日本基督教改革派教会（ ）中会は、今ここに、（ ）が、御言葉に従い、また私たちの教会の憲法に従って選ばれ、この伝道所の宣教師として就職したことを宣

言します。

八、伝道所設立の宣言

日本基督改革派教会（ ） 中会は、今ここに、日本基督改革派（ ） 伝道所が、御言葉に従い、また私たちの教会の憲法に従って設立されたことを宣言します。

九、伝道所設立の祈祷

恵み深い父なる神よ。あなたは、御独り子、私たちの主イエス・キリストを世に遣わし、十字架の苦難と復活によって救いの業を成就し、御霊によって彼をかしらとする教会を興し御国を建設されます。あなたは、今ここに、あなたの伝道所を設立させてくださったことを心から感謝いたします。

願わくは、この伝道所を世の光、地の塩としてください。願わくは、この伝道所をとおして福音がこの地域に広く宣べ伝えられますように。願わくは、この伝道所が成長して、一日も早く教会設立にまで導かれますように。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

一〇、問安祝福の辞

日本基督改革派教会（ ） 中会は、あなたがた（ ） 伝道所の安否を問い、

平安と祝福があるようにお祈りいたします。「どうか、平和の主ご自身が、いついかなる場合にも、あなたがたに平和を与えて下さるよう。主があなたがたと共におられるように。」アーメン。

一一、特命委員勧告

(宣教師と伝道所に対する短い勧告)

一二、讚美歌

一三、祝 辞

(省略しても、あるいは式後に行ってもよい)

一四、祝 祷

三、教師候補者誓約式

一、政治規準第一百七条、第一百九条を参照のこと。

二、司式は、中会議長または特命委員中の教師があたること。

三、誓約式は、中会議場または特命委員により所属教会で行うこと。

一、聖書

マタイによる福音書九章三五〜三八節

使徒行伝一章一九〜二四節

テモテへの第二の手紙二章一四〜二六節

二、誓約

(誓約者は前に進み出る)

()、あなたは、今、教師候補者になろうとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

一、あなたは、神の恵みによつて、教師候補者としてふさわしい品性を保ち、御言葉の教師となるために必要な準備を、熱心かつ忠実にを行うことを誓約しますか。

二、あなたは、教師となるための準備に関して、中会の指導と監督に服することを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をもお与え下さるようにな。アーメン。

三、祈 禱

恵み深い父なる神よ。あなたは、今日から、この兄弟を召して、教師候補者としてください。願わくは、聖霊を豊かに与え、教師として立てられる日まで、すべての準備を守り導いてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

四、宣 言

日本基督教改革派教会（ ）中会は、今ここに、（ ）が、御言葉に従い、また私たちの教会の憲法に従って選ばれ、教師候補者の資格を取得したことを宣言します。

五、讚美歌

六、祝 禱

七、紹 介

四、説教免許授与式

一、政治規準第百十三条、第百十五条を参照のこと。

二、司式は、中会議長または特命委員中の教師があたること。

三、誓約式は、中会議長または特命委員により所属教会で行うこと。

一、聖書

ローマ人への手紙一〇章五〜一五節

テモテへの第二の手紙二章一四〜二六節

テモテへの第二の手紙四章一〜八節

二、誓約

(誓約者は前に進み出る)

()、あなたは、今、説教免許を取得しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

一、あなたは、旧・新約聖書が神のことばであり、信仰と生活の唯一の誤りなき規準であると信じますか。

二、あなたは、私たちの教会の信仰規準を、聖書の真理を体系的に示すものとして誠実に受け入れますか。

三、あなたは、教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。

四、あなたは、説教免許所有者として、この中会の監督と指導に従うことを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をお与え下さるよう。アーメン。

三、祈 禱

恵み深い父なる神よ。あなたは、今日から、この兄弟を召して、説教者としてくださいます。願わくは、聖霊を豊かに与え、御国の奉仕者にふさわしい者としてください。兄弟が、信仰から信仰に進み、愛に富み、知恵と力と勇氣に満ちあふれ、御言葉を忠実に宣べ伝え、福音の真理を余すところなくあかしすることができるようになってください。願わくは、兄弟が、一日も早く教師に任職されますように守り導いてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

四、宣 言

日本基督教改革派教会（ ）中会は、今ここに、（ ）が神が教会をとおして招き導かれる場所で、御言葉の説教をなし、福音を宣教する資格を得たことを、主イエス・キリストの御名において宣言します。

- 五、讚美歌
- 六、祝 禱
- 七、紹 介

五、教師任職式

- 一、政治規準第百四条、第百二十六条、第百二十八条を参照のこと。
- 二、司式は、中会議長または特命委員中の教師があたること。
- 三、任職式は、中会議場または特命委員により所属教会で行うこと。

一、聖 書

- コリント人への第一の手紙四章一〜五節
- エペソ人への手紙四章一〜一五節
- テサロニケ人への第一の手紙二章三〜一三節
- テモテへの第一の手紙四章六〜一六節
- テモテへの第二の手紙二章一〜一三節、四章一〜八節

二、式 辞

(誓約者は前に進み出る)

日本基督教改革派教会() 中会は、今ここに、教師試験に合格した() の教師任職式を行おうとしています。

そもそも教師の職務は、その重要性のゆえに、教会において第一位を占めるものです。聖書は、この職務を遂行する者について各種の名称を与えて、その働きの多様性を示しています。キリストの群れの監視者であるゆえに『監督』、羊の群れを霊的に養うゆえに『牧師』、教会においてキリストに仕える者であるゆえに『しもべ』、羊の群れに対して分別と知恵を持ち、彼らの模範となり、キリストの家と御国をよく治める義務を持つ者であるゆえに『長老』、罪人に神の御旨を宣言し、キリストによる神との和解を勧めるために遣わされた者であるゆえに『使者』、滅びつつある者に救いの音信をもたらす者であるゆえに『伝道者』、福音を宣教するために立てられた者であるゆえに『説教者』、御言葉を解説し健全な教理を説き、反対論を論破する者であるゆえに『教師』、と呼ばれます。これらの名称は、職務の階級を示すものではなく、皆、同一の職務を表わしています。

三、誓約

()、あなたは、今、教師に任職されようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

一、あなたは、旧・新約聖書が神のことばであり、信仰と生活の唯一の誤りなき規準であると感じますか。

二、あなたは、私たちの教会の信仰規準を、聖書の真理を体系的に示すものとして誠実に受け入れますか。

三、あなたは、私たちの教会の教会規程に従うことを誓約しますか。

四、あなたは、神の恵みによってこの職務に召されたことを確信し、神への愛と福音を宣べ伝える熱心によってのみ、この務めを遂行することを誓約しますか。

五、あなたは、いかなる場合にも、福音の真理及び教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。

六、あなたは、キリスト者また福音の役者としての義務を果たし、生活において福音の告白を飾り、託された人々の前に敬虔の模範となるように努力することを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をお与え下さるよう。アーメン。

四、中会議員の誓約

一、あなたがたは、() を私たちの中会の教師として受け入れることを誓約しますか。

二、あなたがたは、彼の語る御言葉の真理に対して、謙遜と敬虔の思いをもって聞き従うことを誓約しますか。

三、あなたがたは、彼の敬意と同情を示し、御国の業を務める彼の働きに、良き協力を与えることを誓約しますか。

(議員は拳手によって誓約の意思を表わす)

五、按 手

(司式者は、当人をひざまずかせ、中会議員と共に按手して、次の祈禱をささげる)

六、任職の祈禱

恵み深い父なる神よ。今、私たちは、あなたが御心によってこの兄弟を教師の職に召

してください、兄弟もまた召命を確信して生涯をあなたにささげ、ここに任職式を挙げることができましたことを感謝いたします。

願わくは、あなたに選ばれた主のしもべの上に手を置くにあたり、聖霊を豊かに注いで兄弟を聖別し、その任務に就かせてください。願わくは、兄弟が教師に必要なすべての賜物を与えられ、御言葉の良き役者となるとともに、多くの人の模範となることができるようにしてください。願わくは、主の栄光が兄弟をとおして現われ、主の教会が兄弟によっていよいよ固くされますように。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

七、任職の宣言

日本基督改革派教会（ ） 中会は、今ここに、（ ）が、御言葉に従い、

また私たちの教会の憲法に従って選ばれ、私たちの中会の教師として任職したことを宣言します。

八、讚美歌

九、祝 禱

一〇、紹 介

六、牧師就職式〔協力牧師・宣教師就職式〕

- 一、政治規準第百三十条を参照のこと。
- 二、司式は、中会議長または特命委員中の教師があたること。
- 三、就職式は、中会議場または特命委員により当該教会で行うこと。
- 四、伝道所開設に伴う宣教師就職式は、中会議長により中会議場において、これに準じて行うこと。

一、讚美歌

二、聖書

ヨハネによる福音書一〇章一〜一八節

ヨハネによる福音書二一章一五〜二二節

使徒行伝二〇章一七〜三五節

エペソ人への手紙四章七〜一六節

三、祈祷

四、式 辞

(誓約者は前に進み出る)

日本基督改革派教会 () 中会は、今ここに、() 教師の () 教会〔伝道所〕牧師、〔協力牧師・宣教教師〕就職式を挙げようとしています。

そもそも牧師〔協力牧師・宣教教師〕は、御言葉の役者であつて、聖書に示された主の御言葉を群れに説き明かし、それによつて彼らに恵みを得させ、また、主にある訓戒と慰めによつて、キリストによる悔い改めと神に対する和解とに導く務めを持つています。更に牧師〔協力牧師・宣教教師〕は、聖書の真理を擁護し、すべての誤謬を打ち碎き、その群れに救いの道を教え諭すだけでなく、御言葉をもつて病める者を慰める務めも持つています。それゆえ、使徒パウロも、「すべてこれらの事は、神から出ている。神はキリストによつて、わたしたちをご自分に和解させ、かつ和解の務をわたしたちに授けて下さつた。すなわち、神はキリストにおいて世をご自分に和解させ、その罪過の責任をこれに負わせることをしないで、わたしたちに和解の福音をゆだねられたのである。神がわたしたちをとおして勧めをなさるのであるから、わたしたちはキリストの使者なのである。そこで、キリストに代つて願う、神の和解を受けなさい」(第二コリン

ト五章一八（二〇節）と言ひ、また、「教にかなつた信頼すべき言葉を守る人でなければならぬ。それは、彼が健全な教によつて人をさとし、また、反対者の誤りを指摘することができるとある」（テトス一章九節）と教えて、この職務の重大なことを説きました。

第二に、牧師〔協力牧師・宣教師〕は、礼典をつかさどる務めを持っています。礼典は、恵みの手段として主が定められた制度であり、使徒たちを経て教会に伝えられたものですから、御言葉の役者は、この礼典の重大さに留意しなければなりません。

第三に、牧師〔協力牧師・宣教師〕は、教会員のために、常に祈らなければなりません。「そこで、まず第一に勧める。すべての人のために、王たちと上に立っているすべての人々のために、願いと、祈りと、とりなしと、感謝とをささげなさい。それはわたしたちが、安らかで静かな一生を、真に信心深くまた謹厳に過ごすためである。これは、わたしたちの救主である神のみまえに良いことであり、また、みこころにかなうことである。」（第一テモテ二章一―三節）

第四に、牧師〔協力牧師〕は、「協力牧師・牧師」長老と共に教会員を訓練し、「宣教師は、中会からゆだねられた法治権に基づき、教会員を訓練し、」主が命じられたよ

うに教会を治める者です。主キリストは使徒に対し、「わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつながら、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう」(マタイ一六章一九節)と教えられました。更に、使徒パウロも、「自分の家を治めることも心得ていない人が、どうして神の教会を預かることができようか」(第一テモテ三章五節)と教えて、この務めが、神の家司、監督、群れの監視者と言われる理由を明らかにしているとおりです。

五、誓約

()、あなたは、今、() 教会〔伝道所〕の牧師〔協力牧師・宣教教師〕に就職しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

一、あなたは神の恵みによってこの職務に召されたことを確信し神への愛と福音を宣べ伝える熱心によってのみ、この務めを遂行することを誓約しますか。

二、あなたは、いかなる場合にも、福音の真理及び教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。

三、あなたは、キリスト者また福音の役者としての義務を果たし、生活において福音の

告白を飾り、託された人々の前に敬虔の模範となるように努力することを誓約しますか。

四、あなたは、この教会〔伝道所〕の招聘に応じて、牧師〔協力牧師・宣教教師〕の務めを行うにあたり、この人々を愛し、神の恵みとみ力によつて、喜んで義務を果たすことを誓約しますか。

（宣教教師に対し）

五、あなたは、この伝道所における法治権の行使を、中会よりゆだねられた宣教教師として、この権能を正しく且つ慎重に用いることを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をもお与え下さるよう。アーメン。

六、教会員の誓約

（陪餐会員起立）

一、主は、あなたがたの選んだこの愛する兄弟を、今、あなたがたの牧師〔協力牧師・宣教教師〕として遣わされます。あなたがたは、真心から喜びと敬虔をもつて、こ

の兄弟を御言葉の役者として受け入れることを誓約しますか。

二、主は、牧師〔協力牧師・宣教教師〕の務めとして、教え、勧め、また戒めることを命じられました。あなたがたは、彼が聖書に従って語る言葉を、真理として受け入れることを誓約しますか。

三、牧師〔協力牧師・宣教教師〕は、大きな責任を身に帯びて、託された人々を守るものです。あなたがたは、彼に対し、使徒たちが命じるように従順であることを誓約しますか。

四、牧師〔協力牧師・宣教教師〕は、宣教によって人を神の国に導く特権をゆだねられたものです。あなたがたは、そのために言葉と行いをもって、彼を励まし、また助けることを誓約しますか。

（教会員は挙手によって誓約の意思を表わす）

七、就職の祈祷

恵み深い父なる神よ。あなたは、知恵と力とを用いて天と地とそのなかにあるすべてのものを造り、これを支え導いておられます。私たちは、真心からの賛美をもってあなたの御名をほめたたえます。

聖なる主よ。あなたは、独り子を賜ったほどに、私たちを愛してください、御子にあって世を御自分と和解させ、且つ、和解の言葉をしもべたちに与えてくださいました。

私たちは、あなたがこの兄弟を選んで、（ ）教会〔伝道所〕の牧師〔協力牧師・宣教師〕としてくださることを感謝いたします。願わくは、聖霊を豊かに与え、兄弟が御言葉の役者にふさわしい者とされ、常に命の御言葉を語り、魂を養い、福音の真理をもって罪人を主の救いに導くことができるようにしてください。願わくは、主の恵みによって兄弟の言葉と行いを神の御旨にかなうものとならせ、主の御栄光を現わし、常に教会員の模範となることができるようにしてください。

父なる神よ。特に（ ）教会〔伝道所〕を顧み、恵みを注いでください。教会員一人一人が、大きな喜びと感謝をもって（ ）牧師〔協力牧師・宣教師〕を迎え、信頼と敬愛とをもって指導に従い、信仰に進み、柔和と謙遜をもって彼と共に励んで、主の業を全うすることができるようにしてください。主の御霊がこの教会〔伝道所〕に満ちあふれ、ますます主の栄光を現わすことができますようにしてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

八、就職の宣言

日本基督教改革派教会（ ）中会は、今ここに、（ ）が、御言葉に従い、また私たちの教会の憲法に従って選ばれ、この教会（伝道所）の牧師（協力牧師・宣教師）として就職したことを宣言します。

九、勧告

神は、あなたを、大きな事業に召されました。そこで、あなたは「自分自身と群れの全体とに気を配りなさい。聖霊は、神がご自身の血をもって買い取られた神の教会を牧させるために、あなたを群れの監督にお立てになったのです」（使徒二〇章二八節）。

また、キリストを愛し、「神の羊の群れを、牧しなさい。強制されてするのではなく、神に従って、自分から進んでそれをなし、卑しい利得を求める心からではなく、心をこめてそれをしなさい。あなたがたは、その割り当てられている人たちを支配するのではなく、むしろ群れの模範となりなさい」（第一ペテロ五章二―三節）。

更に学ぶにも教えるにも、「わたしの接手をもつてあなたのうちに与えられた神の賜物を、再び燃え立たせなさい。神がわたしたちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊」（第二テモテ一章六―七節）だからです。それだ

けでなく、あなたはキリストの良き兵卒として、すべての苦難と迫害に耐えなければなりません。なぜなら、それによって、あなた自身と、あなたに聞き従う人々を救うことができるからであり、大牧者がおいでのになるとき、朽ちない栄光の冠を受けることができるからです。

一〇、紹介

一一、特命委員勧告

(教師と教会〔伝道所〕に対する短い勧告)

一二、頌栄

一三、祝 祷 (新任者による)

七、巡回教師就職式

- 一、政治規準第二百一十一条、第三百三十一条を参照のこと。
- 二、司式は、中会議長または適当な教師があたること。
- 三、牧師が兼任するときは、就職式を省略してもよい。但し、議場に紹介すること。

一、讚美歌

二、聖書

ルカによる福音書一〇章一〜二〇節

使徒行伝八章二五〜四〇節

三、祈禱

四、式辭

(誓約者は前に進み出る)

日本基督教改革派教会 () 中会は、今ここに、 () 教師の巡回教師就職式

を行おうとしています。

そもそも巡回教師の職務は、中会の監督の下に、広く宣教活動を行うことです。主は弟子たちに、「収穫は多いが、働き人が少ない。だから、収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すようにしてもらいなさい。さあ、行きなさい。わたしがあなたがつかわすのは、子羊をおおかみの中に送るようなものである」(ルカ一〇章二〜三節)、「行って、『天国が近づいた』と宣べ伝えよ」(マタイ一〇章七節)、とお命じになりました。

そこで、私たちの主イエス・キリストの御足の跡を踏み、「御言を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、それを励み、あくまでも寛容な心でよく教えて、責め、戒め、勧めなさい。何事にも慎み、苦難を忍び、伝道者のわざをなし、自分の務を全うしなさい。」(第二テモテ四章二、五節)。今から後、命じられた町々村々を行き巡り、「堅く立つて動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあつては、あなたがたの労苦がむだになることはない、あなたがたは知っているから」です。(第一コリント一五章五八節)。

五、誓約

()、あなたは今、日本基督改革派教会() 中会の巡回教師に就職しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

一、あなたは、神の恵みによってこの職務に召されたことを確信し、神への愛と福音を宣べ伝える熱心によってのみ、この務めを遂行することを誓約しますか。

二、あなたは、いかなる場合にも、福音の真理及び教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。

三、あなたは、キリスト者また福音の役者としての義務を果たし、生活において福音の

告白を飾り、人々の前に敬虔の模範となるように努力することを誓約しますか。

四、あなたは、今、巡回教師に任じられようとしています。あなたは、神の恵みとみ力に信頼して、福音宣教の任務を忠実にを行うことを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をもお与え下さるように。アーメン。

六、就職の祈祷

恵み深い父なる神よ。私たちは、今、あなたが特にこの兄弟を選んでくださり、私たちの中会の巡回教師としてくださいますことを感謝いたします。

願わくは、兄弟に聖霊を与え、兄弟をきよめ、知恵と力とを与え、その務めを全うすることができるようしてください。願わくは、兄弟が、主イエス・キリストとその教会を愛し、常に使命に対して忠実であるようにしてください。また、「なんとかして幾人かを救うために、すべての人に対しては、すべての人のようになる」愛をお与えください（第一コリント九章二二節）。

いつくしみ深い主よ。兄弟を絶えず導き、どこにいても主の栄光を現わすことがで

きるようにしてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

七、就職の宣言

日本基督改革派教会（ ） 中会は、今ここに、（ ）が、御言葉に従い、

また私たちの教会の憲法に従って選ばれ、この中会の巡回教師として就職したことを
宣言します。

八、讚美歌

九、祝 禱

一〇、紹 介

第五章 大会が執行する諸式

一、中会設立式

一、中会の設立については、政治規準第七十一条を参照のこと。

二、司式は、大会が任命する特命委員中の教師があたること。

一、讚美歌

二、聖書

使徒行伝一五章一―二九節

エペソ人への手紙一章三―二三節

三、開式の祈祷

四、経過報告

(中会設立準備委員による経過報告。但し、文書をもって代えてもよい)

五、議員点呼

六、誓約

(中会議員起立)

一、あなたがた教師及び治会長老は、今ここに、日本基督改革派教会()中会を設立するにあたり、教会のかしらなるキリストの主権と、聖書の至上の権威に基づき、また私たちの教会の憲法に従って、管轄区域内の教会の上に、与えられた権能を正しく忠実に行使することを誓約しますか。

二、あなたがたは、中会議員として、それぞれの権能を連帶的に行使し、この中会及び日本基督改革派教会全体の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。
(議員は、挙手によって誓約の意思を表わす)

七、中会設立の祈祷

恵み深い父なる神よ。あなたは独り子、私たちの主イエス・キリストを世に遣わし、十字架の苦難と復活によって救いの御業を成就し、主をかしらとする教会を興して御国を建設してください。

あなたが、今、しもべたちに志を立てさせ、ここに新しい中会を設立し、御旨を行ってくださることを感謝いたします。願わくは兄弟たちが主の教会を尊び、この中会をとおして御名の栄光を現わすことができますようにお導きください。

願わくは、() 中会を、人が支配する所、また世の富と力がかさどる所とならせず、ただ、あなたのみが永遠に統べ治める所としてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

八、中会設立の宣言

日本基督改革派教会大会は、今ここに、日本基督改革派教会() 中会が、御言

葉に従い、また私たちの教会の憲法に従って設立されたことを宣言します。

九、問安祝福の辞

日本基督改革派教会大会は、あなたがた日本基督改革派教会（ ）中会の安否を問い、平和と祝福があるようにお祈りいたします。「どうか、平和の主ご自身が、いついかなる場合にも、あなたがたに平和を与えて下さるように。主があなたがた一同と共におられるように。」アーメン。

一〇、特命委員勧告

(中会に対する短い勧め)

一一、祝 辞

(省略しても、あるいは式後に行ってもよい)

一二、讚美歌

一三、祝 禱

二、宣教師就職式

- 一、政治規準第二百二十四条、第三百二十二条を参照のこと。
- 二、司式は、大会議長または特命委員中の教師があたること。
- 三、就職式は、大会議場または特命委員により中会議場で行うこと。

一、讚美歌

二、聖書

マタイによる福音書二八章一六〜二〇節

使徒行伝一章六〜一二節、一三章一〜三節、一六章一〜一〇節

三、祈禱

四、式辞

(誓約者は前に進み出る)

日本基督改革派教会大会は、今ここに、() 教師の宣教師就職式を行おうと
しています。

そもそも宣教師の職務は、大会の監督の下に、広く国外において宣教活動を行うことです。主は弟子たちに、「あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、あなたがたに命じておいたいっさいのことを守るように教えよ」と命じられました（マタイ二八章一九―二〇節）。

そこで、私たちの主イエス・キリストの御足の跡を踏み、「御言を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、それを励み、あくまでも寛容な心でよく教えて、責め、戒め、勧めなさい。何事にも慎み、苦難を忍び、伝道者のわざをなし、自分の務を全うしなさい。」（第二テモテ四章二、五節）。今から後、遣わされる（ ）の町々村々を行き巡り、「堅く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあつては、あなたがたの労苦がむだになることはない、あなたがたは知っているから」です（第一コリント一五章五八節）。

五、誓約

（ ）、「あなたは、今、日本基督教改革派教会大会が派遣する宣教師に就職しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

一、あなたは、神の恵みによってこの職務に召されたことを確信し、神への愛と福音を

宣べ伝える熱心によつてのみ、この務めを遂行することを誓約しますか。

二、あなたは、いかなる場合にも、福音の真理及び教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。

三、あなたは、キリスト者また福音の役者としての義務を果たし、生活において福音の告白を飾り、人々の前に敬虔の模範となるように努力することを誓約しますか。

四、あなたは、今、宣教師に任じられようとしています。あなたは、神の恵みとみ力に信頼して、福音宣教の任務を忠実にを行うことを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をもお与え下さるやうに。アーメン。

六、就職の祈祷

恵み深い父なる神よ。私たちは、今、あなたが特にこの兄弟を選んでくださり、私たちの大会の宣教師としてくださいますことを感謝いたします。

願わくは、兄弟に聖霊を与え、兄弟をきよめ、知恵と力とを与え、その務めを全うすることができるやうにしてください。願わくは、兄弟が主イエス・キリストとその教会

を愛し、使命に対して忠実であるようにしてください。また、遣わされた国の人々を愛し、「できるだけ多くの人を得るために、自ら進んですべての人の奴隷になる」ことができるように、すべての働きを祝福してください（第一コリント九章一九節）。
いづくしみ深い主よ。兄弟を絶えず導き、どこにいても主の栄光を現わすことができるようにしてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。
七、就職の宣言

日本基督教改革派教会大会は、今ここに、（ ）が御言葉に従い、また私たちの教会の憲法に従って選ばれ、この教会の宣教師に就職したことを宣言します。

八、讚美歌

九、祝 禱

一〇、紹 介

三、神学教師就職式

- 一、政治規準第二百三十三條、第三百二十二條を参照のこと。
- 二、司式は、大会議長または特命委員中の教師があたること。
- 三、就職式は、大会議場または特命委員により中会議場で行うこと。
- 四、「 」は、神学校で奉仕する神学教師の就職式に用いる。

一、讚美歌

二、聖書

コリント人への第二の手紙一〇章三〜六節

エペソ人への手紙四章一〜一六節

コロサイ人への手紙二章一〜八節

テモテへの第一の手紙六章二後半〜二一節

三、祈禱

四、式 辞

(誓約者は前に進み出る)

日本基督教改革派教会大会は、今ここに、() 教師の神学教師就職式を行おうと
しています。

そもそも神学教師の任務は、私たちの教会内で神学活動に従事し、教会の教育使命を
専ら遂行することです。

主イエス・キリストは、最初の証人たちを、直接教え導かれて伝道に遣わされました。
また、ペンテコステ以後は、御霊の特別な働きによって、特に彼らに奇跡を行う能力と
神の奥義の知識とを与えられたときもありました。しかし、その後の時代には、主は、
正規の教育によって訓練された教師によって信徒を養い、教会を育てることを良しとさ
れました。使徒パウロがテモテに対して、「あなたが多くの証人の前でわたしから聞いた
ことを、さらにほかの者たちにも教えることのできるような忠実な人々に、ゆだねな
さい」と命じているとおりです (第二テモテ二章二節)。

それゆえ教会には、御言葉の絶えざる研究と健全な教えの弁証という重大な使命があ
ります。従って神学教師は、この重大な使命を十分に自覚して、神の御言葉と教会に仕

えなければなりません。

〔日本基督改革派教会は、神学教育の重要性を自覚して、今日まで神戸改革派神学校を経営してきました。() 教師は、今、特に、神学校で奉仕する神学教師に就職しようとしています。神学校で教える教師は、御言葉の知識によって学生を訓練し、彼らに信仰の奥義を解明して誤謬や異端と戦う能力を備えさせ、主の小羊を良く教え良く牧する知恵を与えなければなりません。〕

五、誓約

()、あなたは、今、神学教師に就職しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

一、あなたは、神の恵みによってこの職務に召されたことを確信し、神への愛と福音を宣べ伝える熱心によってのみ、この務めを遂行することを誓約しますか。

二、あなたは、いかなる場合にも、福音の真理及び教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。

三、あなたは、キリスト者また福音の役者としての義務を果たし生活において福音の告白を飾り、人々の前に敬虔の模範となるように努力することを誓約しますか。

四、あなたは、今、神学教師に任じられようとしています。あなたは、神の恵みとみ力とに信頼して、私たちの教会の神学と教育のために、専心、努めることを誓約しますか。

(神学教師が神学校に就職するとき)

五、あなたは、私たちの教会の神学校において、福音の役者を志してその準備のために学ぶ学生を教える務めに召されようとしています。あなたは、御言葉の真理を正しく教えて偽りを退け、学生には信仰と生活のよき模範となり、彼らが優れた御言葉の役者となるよう、忠実かつ熱心に祈り、指導することを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をもお与え下さるように。アーメン。

六、就職の祈禱

恵み深い父なる神よ。あなたは、今、この兄弟を光榮ある職務に召してください。どうか天よりの光で兄弟を常に照らし、真の知識を得させ、迷いと誤りを退け、健全な思想をもって教会を導くことができるようにしてください。

〔父なる神よ。兄弟は、御国のために教師になろうと志す多くの学生を指導する大任

を与えられました。どうか主の御霊が兄弟をきよめ、天よりの力で支えてください。」
どうか兄弟が主の御前に謙遜になり、人を教えるために、主に教えられる者となら
せてください。願わくは、兄弟がすべてを主にささげ、誓約のことばを固く守り、恐
れおののきつつその務めを忠実に果たし、主の御栄光を現わすことができるようにし
てください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

七、就職の宣言

日本基督教改革派教会大会は、今ここに、（ ）が、御言葉に従い、また、私た
ちの教会の憲法に従って選ばれ、神学教師に就職したことを宣言します。

八、讚美歌

九、祝 祷

一〇、紹 介

四、神学校理事就任式

一、神戸改革派神学校定款第二条、第三条を参照のこと。

二、司式は、特命委員中の教師があたること。

一、讚美歌

二、聖書

三、誓約

(誓約者は前に進み出る)

()、あなたは、今、神戸改革派神学校の理事に就任しようとしています。あなたは、神と教会の前に次の誓約をしなければなりません。

一、あなたは、この務めに選ばれたことを主の御心であると信じますか。

二、あなたは、本校存立の基本的立場を心から支持することを誓約しますか。

三、あなたは、本校の維持と発展に対して、理事の責任を尽くすことを約束しますか。

四、あなたは、この誓約に誠実であり得ないとの自覚に陥った場合は、速やかにその旨

を理事長に申し出て、理事会及び大会（または中会）の裁定に服することを約束しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をお与え下さるよう。アーメン。

四、就任の祈祷

五、紹介

五、神学校校長就任式

一、神戸改革派神学校定款を参照のこと。

二、司式は、大会議長または神学校理事長があたること。

一、讚美歌

二、聖書

三、式辞

(誓約者は前に進み出る)

日本基督教改革派教会大会は、今ここに、() 教師の神戸改革派神学校校長就任式を行おうとしています。

そもそも神戸改革派神学校の目的は、歴史的改革派信仰に立つて、キリスト教教師の養成と正統神学の建設をなすことであります。

この目的に従って、神学校校長は、理事会の監督の下に、神学校を代表し、校務を統裁し、教授会とともに学科内容の充実に務め、学生をよく指導し、学校の名声を高めるように努力しなければなりません。それゆえ、神学校校長は、真理の御霊の助けを祈り求めつつ、愛と熱心をもって奉仕しなければなりません。

四、誓 約

() あなたは、今、神戸改革派神学校校長に就任しようとしています。あなたは、神と教会の前に、次の誓約をしなければなりません。

一、あなたは、神の恵みによってこの職務に召されたことを確信しますか。

二、あなたは、本校存立の基本的立場と教育方針に従い、校長の職務を果たすことを誓約しますか。

当 人 神と教会の前に、謹んで誓約いたします。

司式者 願わくは、この志と決心とを与えられた神が、これを成し遂げる力をもお与

え下さるようにな。アーメン。

五、就任の祈祷

六、紹介

第六章 家庭に関する諸式

一、家庭 礼 拝

一、個人礼拝並びに家庭礼拝の通常の要素は、祈祷、聖書の朗読、讃美歌、瞑想である（礼拝指針十三章）

二、家庭礼拝は、家族全員がそろって永続できるように、時刻、時間、順序を適当に調整すること。

(例)

讚美歌

聖書朗読(または輪読)

〈教理問答・信仰良書・奨励〉

祈禱

主の祈

瞑想

二、婚約式

一、婚約式を行うかどうかは、当事者及び教師の判断に任される。

二、司式は、通常、教師があたること。

三、証人(立会人)は二人のキリスト信者でなければならない。

四、婚約しようとする男子は司式者に向かって右に、女子は左に起立して誓約する。

一、讚美歌

二、聖書

ヨハネによる福音書一五章一二〜一七節

コリント人への第一の手紙一三章一〜一三節

三、祈禱

恵み深い父なる神よ。あなたの御摂理により、今、この男子と女子は、互いの愛と理解に基づき、あなたと証人たちの前で婚約の誓いを立てようとしています。願わくは、彼らが誓いを誠実に果たすことができるようにしてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

四、式辞

(誓約者は前に進み出る)

あなたがたは今、神と証人の前で婚約しようとしています。婚約は、結婚する日を予想して準備する約束ですから、神をおそれ、神の守りと導きを祈り求めつつ行わなければなりません。従って、あなたがたは、婚約を結婚と混同することなく、神の良しとされるところに従って結婚を許される日まで、神の御前に互いの行動を慎み、婚約者としての礼節を保ち、尊敬と誠実をもって交際しなければなりません。また、それぞれ信仰

に励み、互いの愛と理解を深め、後日、多くの人々の祝福のうちに結婚式を挙げてキリスト者の家庭を築くことができるように、良い準備をしなければなりません。

五、誓約

() () ()

一、あなたがたは、この婚約が主の御心であることを認め、将来、結婚することを誓約しますか。

二、あなたがたは、今後、主の御心になかう清い交際をし、聖書の教えを守り、愛と理解を深め、互いに誠実であることを誓約しますか。

両人 神と証人との前に、謹んで誓約いたします。

(指輪あるいは記念品の授受をする場合は司式者が取り次ぐ)

六、祈 禱

恵み深い父なる神よ。今、この兄弟、姉妹が、きよい誓いを立て、婚約しましたことを感謝いたします。願わくは、二人の信仰と志とを祝し、恵み深い摂理の御手によって支え導いてください。彼らが誘惑を退けて交わりと生活を清め、ますます深い愛と理解に進み、結婚の日を迎えるまで上よりの祝福を豊かに受ける者としてください。また、

二人の家族、友人を初め教会員一同が、彼らの結婚の備えを助け、絶えず執り成すことができませんように。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

七、讚美歌

八、祝 禱

三、結 婚 式

一、礼拝指針第九章を参照のこと。

二、司式は、通常、教師があたること（礼拝指針五十八条）

三、教師は、前もって結婚について教え、神の戒めと国家の法律に背かないように注意し、正当な反対がないことを確認すること（礼拝指針六十条、六十二条）。

四、結婚式は、あらかじめ公表すること（礼拝指針六十二条）

五、証人（立会人）は、二人のキリスト信者でなければならぬ。

六、新郎新婦の入場については、通常、次の二通りがある。

1. 新郎は、証人と共に初めから指定の席にいて、父親または証人に伴われて入場する新婦を迎える方式。

2. 新郎新婦が、それぞれ証人に伴われて、相次いで入場する方式。

七、司式者に向かつて新郎は右に、新婦は左に、証人はその背後に起立して誓約する。

一、前 奏

二、開式の辞

ただいまより、（ ）と（ ）の結婚式を行います。

奏楽とともに、（新郎）新婦が入場されます。一同起立してお迎えください。

三、奏 楽（新郎）新婦入場

四、聖 書

詩篇一二七、一二八篇

五、祈 禱

恵み深い父なる神よ。私たちは、今、この兄弟と姉妹との結婚式を挙げるため、あなたの御前に集まっております。私たちは、この結婚が、あなたの計り知ることのできな
い御旨に基づく摂理であることを確信して、この式の上にあなたの祝福を切にお祈りい

たします。

願わくは、この婚礼の式をきよめ、主イエスがカナの婚礼に出席して最初の奇跡を行って祝福されたように、今、この場にも臨み、御栄光を現わし、私たちを祝福してください。そうして、今日から始められる二人の新しい生活が、主の御心にかない、生涯、平和と繁栄と恵みが与えられますように。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

六、讚美歌

七、式 辞

私たちは、今ここに集まり、神と証人との前で、この男子と女子の結婚式を挙げようとしています。

結婚は、神が天地を創造されたときから、神の御栄光と私たち人間の幸福のために、神が定められた尊い制度です。聖書は、「すべての人は、結婚を重んずべきである」（ヘブル一三章四節）と命じて、結婚の神聖さを教えています。従って、私たちは、神を恐れ慎んで結婚をしなければなりません。

そこで、出席の皆さんのうち、この結婚に正当な理由で異議のある方は、今ここで、

それを申し出て下さい。今、申し出がなければ、後日、異議を申し立て、二人の平和を破つてはなりません。

次に、あなたが二人に申し上げます。人の心を探り知られる神の御前に、静かに省み、この結婚が、神の律法にかなわないことを思い起こすなら、今ここでそれを言い表わしてください。神の言葉に背いた結婚は、神が合わせられるものではないからです。

八、聖書の教え

あなたがたが、この結婚に期待するすべての幸福は、あなたがたが結婚関係の神聖なことを悟り、聖書に教えられている夫婦相互の義務を忠実に果たし、ひたすら神の祝福を求め続けるときにのみ実現されます。そこで、夫婦に関する聖書の教えを受け入れなければなりません。

聖書はまず夫に対して、次のように教えています。

「夫たる者よ。キリストが教会を愛してそのためにご自身をささげられたように、妻を愛しなさい。自分自身を憎んだ者は、いまだかつて、ひとりもない。かえって、キリストが教会になさったようにして、おのれを育て養うのが常である。わたしたちは、キリストのからだの肢体なのである。『それゆえに、人は父母を離れてその妻と結ばれ、

ふたりの者は一体となるべきである』。この奥義は大きい。あなたがたは、それぞれ、自分の妻を自分自身のように愛しなさい」(エペソ五章二五、二九―三三節)。

「夫たる者よ、妻を愛しなさい。つらくあたつてはいけない」(コロサイ三章一九節)。

「夫たる者よ。あなたがたも同じように、女は自分よりも弱い器であることを認めて、知識に従つて妻と共に住み、いのちの恵みを共どもに受け継ぐ者として、尊びなさい。それは、あなたがたの祈が妨げられないためである」(第一ペテロ三章七節)。

聖書は次に妻に対して、次のように教えています。

「妻たる者よ。主に仕えるように自分の夫に仕えなさい。キリストが教会のかしらであつて、自らは、からだなる教会の救主であられるように、夫は妻のかしらである。そして教会がキリストに仕えるように、妻もすべてのことにおいて、夫に仕えるべきである」(エペソ五章二二―二四節)。

「妻たる者よ、夫に仕えなさい。それが、主にある者にふさわしいことである」(コロサイ三章一八節)。

「妻たる者よ。夫に仕えなさい。そうすれば、たとい御言に従わない夫であっても、あなたがたのうやうやしく清い行いを見て、その妻の無言の行いによって、救に入れら

れるようになるであろう。あなたがたは、髪を編み、金の飾りをつけ、服装をととのえるような外面の飾りではなく、かくれた内なる人、柔和で、しとやかな霊という朽ちることのない飾りを、身につけるべきである。これこそ、神のみまえに、きわめて尊いものである。むかし、神を仰ぎ望んでいた聖なる女たちも、このように身を飾つて、その夫に仕えたのである。たとえば、サラはアブラハムに仕えて、彼を主と呼んだ。あなたがたも、何事にもおびえ臆することなく善を行えば、サラの娘たちとなるのである」(第一ペテロ三章一―六節)。

九、誓約

(新郎に対して)

一、()、あなたは、今、この女子を妻としようとしています。あなたは、真心からこの女子を妻とすることを願いますか。

二、あなたは、この結婚が神の御旨によることと確信しますか。

三、あなたは、神の教えに従い、きよい家庭をつくり、夫としての分を果たし、常にあなたの妻を愛し、敬い、慰め、助けて、死が二人を分かつまで、健やかなときも、病むときも、順境にも、逆境にも、常に真実で愛情に満ち、あなたの妻に対して

堅く節操を守ることを誓約しますか。

新郎 神と証人との前に、謹んで誓約いたします。

(新婦に対して)

一、()、あなたは、今、この男子を夫としようとしています。あなたは、真心からこの男子を夫とすることを願いますか。

二、あなたは、この結婚が神の御旨によることと確信しますか。

三、あなたは、神の教えに従い、きよい家庭をつくり、妻としての分を果たし、常にあなたの夫を愛し、敬い、慰め、助けて、死が二人を分かつまで、健やかなときも、病むときも、順境にも、逆境にも、常に真実で愛情に満ち、あなたの夫に対して堅く節操を守ることを誓約しますか。

新婦 神と証人との前に、謹んで誓約いたします。

(指輪を贈る場合、司式者から新郎に渡し、新郎が新婦の左手の第四指にはめる。交換の場合もこれに準じる)

(司式者 この指輪を、あなたがたの真実のしるし、また、終生の記念としなさい)

一〇、祈 禱

(司式者の持つ聖書の上に、新郎新婦の右手を置かせ、次の祈禱をささげる)

恵み深い父なる神よ。あなたは、今、この二人に、夫婦となる誓いを立てさせてくださいましたことを感謝します。

願わくは、二人が誓いを堅く守り、御言葉に従い、御恵みのうちに生活することができるように、お守りください。また、二人が、変わることにない節操と、まことの愛情を保つことができるように、聖霊をお与えください。二人を、すべての試練と誘惑から守り、大能の御手で支えてください。二人の信仰を強め、教会の交わりに連なり、あなたに良く仕えて、天よりの祝福を末永く受けさせてください。

(願わくは、この夫婦に子女をお授けくださり、信仰とおそれのうちに子女が成長し、御名の栄光を現わす姿を見させてください。)

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

一一、宣 言

() と () とは、今、神と証人との前で、真心から夫婦となる誓約を立てました。そこで、私は、父と子と聖霊との御名によって、この男女が夫婦である

ことを宣言します。

「神が合わせられたものを、人は離してはならない」(マタイ一九章六節)。アーメン。

二二、祝 福

主はいつくしみをもって、あなたがたを顧みてくださいます。主はあなたがたをきよめ、祝福し、霊肉ともに主の御心にかなうものとし、世にある限り、清い夫婦の愛を全うさせてくださいます。主は永遠の命をあなたがたに継がせてくださいます。アーメン。

二三、讚美歌

二四、説 教 (司式者の判断に任される)

二五、頌 栄

二六、祝 祷

二七、奏 楽 (新郎新婦退場)

二八、挨拶 (親族代表)

四、葬儀諸式

一、葬儀の目的は、神への礼拝、遺体の葬り、地上に残る者への慰めである。従つて、死者のための祈祷、供物、焼香、また死者への語りかけなど、異教的慣習を排除すること（礼拝指針六十六条、大教理問答一〇七―一一〇）。

二、司式は、通常、教師があたること（礼拝指針六十五条）。

三、葬儀の要素は。讚美歌、聖書、勧め、祈祷である（礼拝指針六十五条）。

四、葬儀に伴う前後の諸式（納棺式、前夜式、出棺式、火葬式、納骨式、記念会）は、必要に応じて行うこと。

1. 納棺式

一、臨終の知らせを受けた教師は、遺族に対して、礼節を尽くして適切な指示と助言を与えること。

一、讚美歌

二、聖書

詩篇三九篇

詩篇九〇篇

ピリピ人への手紙三章二〇―四章一節

その他、司式者が選んだ適切な聖句

三、祈禱

恵み深い父なる神よ。あなたは、人に命を与え、またそれをお取りになり、みもとにお召しになる主権を持つておられます。今、悲しみの中で、御前に集まっている私たちが一同を助けて、あなたには偶然の出来事はないということ信じさせてください。私たちの知恵と、世の尺度では計り知ることのできない事柄があつても、やがて、よみがえりであり命であられる主イエス・キリストを信じる信仰のゆえに、その意味が分かる日のあることを心に留めさせてください。

あなたは、計り知れない恵みにより、この兄弟〔姉妹〕を救い、今日に至るまで守り導かれました。しかし、今や、愛する兄弟〔姉妹〕は、この世の苦しみと罪の悩みから

解き放されて、全き平安と慰めとの中に、栄光の御国にあることを信じて感謝いたします。

御子を死からよみがえらせられた神よ。私たちが、望みのない人々と同じように、あまりにも深く悲しみに沈むことがないように、信仰の目をもって死のかなたを見ることができるようになってください。

願わくは、私たちを助け支えて、みもとに召された兄弟〔姉妹〕の遺体を、復活の希望を抱いて、丁重に葬らせてください。願わくは、残された方々を憐れみ、上よりの慰めを豊かに注いでください。彼らがあなたの御旨を心に留め、あなたを信頼して悲しみに耐え、暗やみから光への道を見出すことができますように、また、私たち一同が、悲しむ者と共に悲しみ、神よりの慰めによって慰めることができますように、聖霊を注いでください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

四、讚美歌

五、納棺の辞

（自由であるが、御言葉に基づく慰めと希望の勧告は、有益である）

- 六、納棺
- 七、頌栄
- 八、祝禱

2. 前夜式

一、悲しむ者と共に悲しみ、主にある慰めをもって慰めるために集うことは、ふさわしいことである。

二、司式者は、形式にとらわれず、慰めの御言葉とその勧めを与えるべきである。

一、讚美歌

二、聖書

私たちは、今こそ主イエスの慰めの御言葉に耳を傾けましょう。

「わたしは、彼らに永遠の命を与える。だから、彼らはいつまでも滅びることがなく、また、彼らをわたしの手から奪い去る者はない」(ヨハネ一〇章二八節)。

「あなたがたは、心を騒がせないがよい。神を信じ、またわたしを信じなさい。わた

しの父の家には、すまいがたくさんある。もしなかったならば、わたしはそう言うておいたであろう。あなたがたのために、場所を用意しに行くのだから。そして、行って、場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしのところに迎えよう。わたしのおる所にあなたがたもおらせるためである。わたしがどこへ行くのか、その道はあなたがたにわかっている」(ヨハネ一四章一〜四節)。

三、祈 禱

恵み深い父なる神よ。今夜、私たちは、この世の旅路を終えてみもとに召された兄弟〔姉妹〕の遺体を前にして、ありし日の兄弟〔姉妹〕をしのびつつ、遺族の方々の上に主の慰めを祈り、信仰をもって兄弟〔姉妹〕を葬る備えをするため、ここに集まりました。

願わくは、主の深い御旨をかしこみ、心に痛みを感じつつみもとに集まる私たち一同に、御言葉によって豊かな慰めを与えてください。悲しみと苦しみの中にあつても、私たちが、あなたを仰ぐことができるように、あなたからの慰めと平和とをお与えください。

御子、主イエス・キリストをとおして永遠の命を約束された神よ。愛する兄弟〔姉妹〕は、あなたの限りない御慈愛によって地上で主を知る者とされ、聖霊の導きによって信

仰の道をたどり、主の贖いによつてきよめられ、遂にみもとに召されました。今や、兄弟〔姉妹〕は、先に召された聖徒たちと共に、御前で主の栄光に仕え、ほめたたえつつあることを信じて、御名をあがめます。

しかしながら、兄弟〔姉妹〕を召されたことによつて、深い悲しみの中にある者の心を顧みてください。願わくは、その心に平安を与え、その魂に恵みを満たしてください。また、この厳かな事実を前にして、一度は死ななければならぬ私たちの定めと、永遠の御国を思い、主を仰ぎ望み、ひたすら信仰の道に進ませてください。そして、私たちが世を去るときに、望みを抱いて去り、兄弟〔姉妹〕のように、聖徒の交わりに連なることができますように。

主イエス・キリストの御名によつてお祈りいたします。アーメン。

四、聖書

ヨハネによる福音書一章二三―二六節

コリント人への第一の手紙一五章五〇―五八節

コリント人への第二の手紙四章一五―五章一〇節

テサロニケ人への第一の手紙四章一三―五章一一節

ペテロの第一の手紙一章三〜九節

五、説教

六、讚美歌

七、祝禱

3. 出棺式

一、自宅から葬式場へ棺を移すときに用いる。

一、讚美歌

二、聖書

ヨハネによる福音書一四章一〜四節

三、祈禱

恵み深い父なる神よ。人の生死は、皆あなたの御手にあります。今、私たちは、世を去った愛する兄弟〔姉妹〕の棺を、送り出そうとしています。どうか、ここに集う者、特に、遺族の方々を顧みてくださり、天よりの清い慰めをもって守り支えてください。すべて

に深い御旨のあることを信じ、たとえ、しばらく相別れても、主にあつて結ばれた交わりを固く信じ、やがて御国において再び相会する望みを持ちつつ、平安のうちに、兄弟〔姉妹〕の遺体を送り出させてください。

主イエス・キリストの御名によつてお祈りいたします。アーメン。

四、説教（司式者の判断に任される）

五、讚美歌

六、祝 祷

七、出 棺

4. 葬 式

一、略歴の紹介、または弔辞を述べるときは、遺体あるいは写真に向つて行わないこと。遺族に対して、主にある慰めの言葉を述べることが適切である。

二、弔電、弔文を披露するときは、遺族の挨拶の前に行う。

一、奏 楽

二、聖句

「イエスは彼女に言われた。わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない」(ヨハネ一章二五、二六節)。

「今から後、主にあつて死ぬ死人はさいわいである。御霊も言う、しかり、彼らはその労苦を解かれて休み、そのわざは彼らについていく」(黙示録一四章一三節)。

三、讚美歌

四、祈 禱

恵み深い父なる神よ。天と地とその中にあるすべてのものを造り、御心に従つて民を選び、御子キリストの尊い御血をもつて贖い、永遠の御国を継がせてくださる全能の御神よ。

私たちは、今、ここに集まり、私たちの計り知ることのできない深い御旨によつて、この世から栄光の御国に召された愛する兄弟〔姉妹〕の葬儀を行おうとしています。願わくは、私たちが執り行ふすべてのことが、御旨にかなひ、御名の栄光を現わすことができますように。また、愛する者とのしばらくの別離を悲しむ兄弟〔姉妹〕たちが主イ

エス・キリストにあつて、慰めと平安を、あなたから受けることができますように。

全能の神よ。あなたは、御子の死によつて私たちの死を滅ぼし、そのよみがえりによつて私たちに命を与え、復活の希望をお与えくださいました。私たちは、愛する兄弟〔姉妹〕が、地上の生涯を走り終え、最後の息を引きとられたその時に、御約束に基づいて、直ちに完全に聖化されたことを確信します。そして、兄弟〔姉妹〕の靈魂は、永遠の御国に移されて主と共に栄光に入れられ、大いなる贖いの日に、肉体の復活を喜び待つ者とされたことを確信いたします。

願わくは、私たちの目を開き、あなたが愛する者のために備えられた天の住み家を仰ぎ見させてください。また、ここに集まるすべての者が、あなたが許してくださいました恵みの時をむなしく費やさないために、自分もやがて死ぬ身であり、その生涯と働きについて裁きを受ける身であることをいつも心に留め、その時に備えさせてください。

願わくは、悲しみの中にある方々を助け導き、心に光を与えて悲しみの意味を悟らせてください。そして、あなたの御業に、深い愛と善意を認め、感謝をもって御名をほめたたえることができるようにしてください。

主イエス・キリストの御名によつてお祈りいたします。アーメン。

- 五、讚美歌（故人愛唱歌）
- 六、聖書
- 七、説教
- 八、祈祷（自由祈祷）
- 九、讚美歌
- 一〇、頌栄
- 一一、祝禱
- 一二、奏楽
- 一三、挨拶（遺族代表）
- 一四、出棺（出席者起立）

5. 埋葬式〔火葬式〕

- 一、遺体は、異教的習慣を排しつつ丁重に扱ふこと。
- 二、遺骨収集に際しては、すべての遺骨を収集することが望ましい。

一、讚美歌

二、聖書

コリント人への第一の手紙一五章一三〜二八、三五〜五八節

ペテロの第一の手紙一章三〜五節

ヨハネの黙示録二一章一〜五節

(例)

「ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神。神は、その豊かなあわれみにより、イエス・キリストを死人の中からよみがえらせ、それにより、わたしたちを新たに生れさせて生ける望みをいだかせ、あなたがたのために天にたくわえてある、朽ちず汚れず、しほむことのない資産を受け継ぐ者として下さったのである。あなたがたは、終りの時に啓示さるべき救にあずかるために、信仰により神の御力に守られているのである」(第一ペテロ一章三〜五節)。

三、火葬前の祈禱〔埋葬前の祈禱〕

恵み深い父なる神よ。あなたは、土をもつて人を造り、これを神の像に似せて栄光ある者としてくださいました。今、みもとに召された愛する兄弟〔姉妹〕の遺体は、私た

ちの目から消え去ろうとしています。今こそ私たちの心に平安を与え、恵みを固く信じ、
て動かない信仰へと導き、確信をもって復活の希望を持ち続けることができるように、
聖霊を注いでください。

願わくは、主よ。愛する兄弟〔姉妹〕が既にあなたのみもとにあつて、喜びと感謝の
うちに仕えて永遠に生きていることを思い、私たちの心が、悲しみに押しつぶされるこ
とがないように守り助けてください。

主イエス・キリストを死人の中からよみがえらせた父なる神よ。あなたは、兄弟〔姉
妹〕の遺体を私たちにゆだねて土にかえらせますが、あなたはこれを覚えて、完全な贖
いの日に、栄光の体によみがえらせてくださいます。

願わくは、私たちもあなたにより頼み、永遠の命に至ることができますように。
主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

四、火 葬〔埋 葬〕

五、讚美歌

六、祝 禱

七、遺骨収集の祈祷

恵み深い父なる神よ。あなたの深い御旨と摂理によってみもとに召された兄弟〔姉妹〕の遺体は、火葬に付され、今、私たちの目に写るのは、ただ遺骨のみであります。しかし、主よ、愛する兄弟〔姉妹〕の靈魂は、全く聖化されて、既に御国であなたと共にあることを信じます。そして、終わりの日には、朽ち果てる肉の卑しい体ではなく、聖化された靈魂にふさわしい栄光の体に復活することを、私たちは固く信じます。

それゆえ、今、兄弟〔姉妹〕が地上に残したものは、一握りの灰に過ぎなくても、私たちは、ここに復活の体を望み見て、希望に支えられます。

願わくは、私たちが憐れみ、遺族を支え、平安をお与えください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

6. 納骨式

一、墓を立てたとき、これを用いてもよい。

一、讚美歌

二、聖書

詩篇一三八篇

ルカによる福音書二〇章二七〜三八節

ヨハネによる福音書五章一九〜二九節

コリント人への第一の手紙一五章一三〜二八、三五〜五八節

ヘブル人への手紙二一章一三〜二三節

(例)

「これらの人はみな、信仰をいだいて死んだ。まだ約束のものは受けていなかったが、はるかにそれを望み見て喜び、そして、地上では旅人であり寄留者であることを、自ら言いあらわした。そう言いあらわすことによつて、彼らがふるさとを求めていることを示している。もしその出てきた所のことを考えていたなら、帰る機会があつたであろう。しかし実際、彼らが望んでいたのは、もっと良い、天にあるふるさどであつた。だから神は、彼らの神と呼ばれても、それを恥とはされなかつた。事実、神は彼らのために、都を用意されていたのである。

信仰によつて、アブラハムは、試練を受けたとき、イサクをささげた。すなわち、約

束を受けていた彼が、そのひとり子をささげたのである。この子については、イサクから出る者が、あなたの子孫と呼ばれるであろうと言われていたのであった。彼は、神が死人の中から人をよみがえらせる力がある、と信じていたのである。だから彼は、いわば、イサクを生きかえして渡されたわけである。信仰によって、イサクは、きたるべきことについて、ヤコブとエサウとを祝福した。信仰によって、ヤコブは死のまぎわに、ヨセフの子らをひとりびひとり祝福し、そしてそのつえのかしらによりかかって礼拝した。信仰によって、ヨセフはその臨終に、イスラエルの子らの出て行くことを思い、自分の骨のことについてさしずした」(ヘブル二章二三―二二節)。

三、納骨の祈祷

恵み深い父なる神よ。あなたは、大能の御手をもって、私たちの主イエスを墓からよみがえらせられました。しかし、あなたは、それに先立って、主の御体をアリマタヤのヨセフの備えた墓に葬ることを良しとされました。また、昔、私たちの信仰の先祖たちも、御国を継ぐ望みをあかしするために、約束の地カナンに葬られることを願いました。今、私たちも、あなたの御旨によって召された兄弟〔姉妹〕の遺骨をここに納めて、終わりの日の復活を待ち望みます。

恵み深い主よ。あなたは、計り知ることのできない恵みをもって、兄弟〔姉妹〕に救いを与え、御国を継ぐ者としてくださいました。兄弟〔姉妹〕の遺骨を納める今、主が備え、主が住まわせてくださる天の栄光を仰がせてください。召された兄弟〔姉妹〕は、みもとにあつて、あなたに仕えつつ復活の栄光を待ち望んでいることを確信いたします。私たちは、なおしばらくの間、地上の教会に属して主に仕えますが、ますます主にある望みに生きて、御栄えを現わすことができるようにしてください。更に、私たちがここを訪ねて来るたびに、信仰と希望を固くすることができますように。やがて私たちも死を迎えるとき、主と共にあつて、召された兄弟〔姉妹〕と一つ御国を継ぐことができますように。そして、共に主の御前で、代々限りなく、御名をたたえさせてください。主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

四、納 骨

五、讚美歌

六、祝 祷

五、建築諸式

1. 起工式〔定礎式〕

一、個人住宅の建築式に用いる。

二、司式は教師が行う。

一、讚美歌

二、聖書

詩篇一二一篇、一二七篇、一二八篇

マタイによる福音書七章二四～二七節

コリント人への第一の手紙三章一〇～一七節

三、式辞

今、私たちは、主にある兄弟〔姉妹〕が、この地に建てようとしている住居の起工〔定礎〕式を行い、この建築工事に上からの御祝福を祈り求めるために集まっています。主の御名によって事を始め、主の恵みによって事の完成を願うのでなければ、人の苦勞は

すべてむなしいものであると、私たちは信じます。そこで、今、始めようとしている工
事のために、全能の神の助けを祈り求めましょう。

四、祈 禱

いつくしみ深い父なる神よ。あなたは人のために地を創造し、これを美しく装い、そ
こに私たちが安らかに住み、雨露や暑さ寒さをしのぎ、憩い眠り、平和な家庭を築くた
め、住宅を建てさせてくださいます。

主は、兄弟〔姉妹〕を恵み、この土地を備え、住宅を新築する企てをお与えになりました。
願わくは、すべてのことが滞りなく運ばれて、速やかに落成を感謝する喜びの日を迎
えさせてください。また、この家に住む人々が、イエス・キリストを土台とし、その上
に信仰の家を建て、神をあがめて生活を営むことができるようにしてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

五、鍬入れ〔定礎〕

（鍬かシャベルで、用意された土をすくってまく）

六、工事者のための祈禱

恵み深い父なる神よ。願わくは、この建築に携わる働き人を導き、安全に守り、忠実

に任務を遂行させてください。この建物のために必要な資材が調えられ、計画どおりに事が運ばれますように。すべての障害を取り除き、兄弟〔姉妹〕たちの望みがかなえられますように。そして、すべての事をおして、御名があげられますように。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

七、讚美歌

八、祈 禱

2. 上 棟 式

一、讚美歌

二、聖 書

詩篇一三八篇

三、祈 禱

恵み深い父なる神よ。あなたは、兄弟〔姉妹〕を恵んで、ここに住宅を建てる志を与え、今日に至るまで工事を導き、働き人を守って、今ここに、棟上げができましたこと

を感謝いたします。

願わくは、この工事を祝して最後まで導き、あらゆる障害と事故を防ぎ、無事に完成に至りますように。そして、竣工の暁には、関係者一同が心から喜び、主の御名をほめたたえることができますように。また、この家に主の祝福が満ち、主の栄光が現われる所としてください。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

四、讚美歌

五、祝 祷

3. 落 成 式

一、讚美歌

二、聖 書

列王紀上八章二二～二六節

詩篇二四篇、八四篇、一二三篇、一三三篇

三、祈 禱

恵み深い父なる神よ。先きにこの工事を始めてから、今日まで、すべてのことに導きと助けをお与えください、つつがなく落成を見るに至らせてくださいましたことを心から感謝いたします。私たちは、今、心からの喜びをもって落成を祝い、御いつくしみを感謝するために、ここに集まっております。願わくは、御祝福を、この家とこの家に住む人々の上に加えてください、この家庭が主にあつて栄えますように。この家庭に属する人々が、まことの信仰をもつて生き、神をあがめ、神に従い、日々感謝をもつて生活を営むことができますように。また、この家庭が主の御用に役立てられ、近隣の人々の間にも主の御名があがめられ、人々に喜ばれる所となりますように。願わくは、兄弟〔姉妹〕たちが、平安のうちに住み、生涯の働きを終えるときには、永遠の住まいに移ることがができますように。主イエス・キリストが、この家の主人とも賓客ともなり、平安がこの家に満ちますように。

主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

四、讚美歌

五、祝 禱

日本基督改革派教会式文

2013年7月20日発行

発行者 日本キリスト改革派教会

製作 ワークホーム聖恵
